

令和4年度
公益財団法人神戸市民文化振興財団
事業概要

文化スポーツ局

目 次

I	神戸市民文化振興財団設立の趣旨	1
II	神戸市民文化振興財団の概要	
1	名 称	2
2	設 立 年 月 日	2
3	所 在 地	2
4	基 本 財 産	2
5	機 構	2
6	職 員 数	3
7	役 員 等	4
III	定 款	5
IV	令和3年度事業報告	
1	概 要	11
2	事業の実施状況	13
3	令和3年度決算	
(1)	事業別収支計算書	39
(2)	正味財産増減計算書	40
(3)	貸借対照表	41
(4)	財産目録	42
(5)	事業別収入明細書	43
(6)	事業別支出明細書	44
(7)	財務状況の推移	45
V	令和4年度事業計画	
1	概 要	46
2	事業計画	48
3	経営改善の取り組み	66
4	令和4年度予算	
(1)	事業別収支予算書	69
(2)	予定正味財産増減計算書	70
(3)	予定貸借対照表	71
(4)	事業別予定収入明細書	72
(5)	事業別予定支出明細書	73
VI	令和3年度主要事業計画・実績比較表	74
VII	主要事業の推移(令和元年度～令和3年度)	75

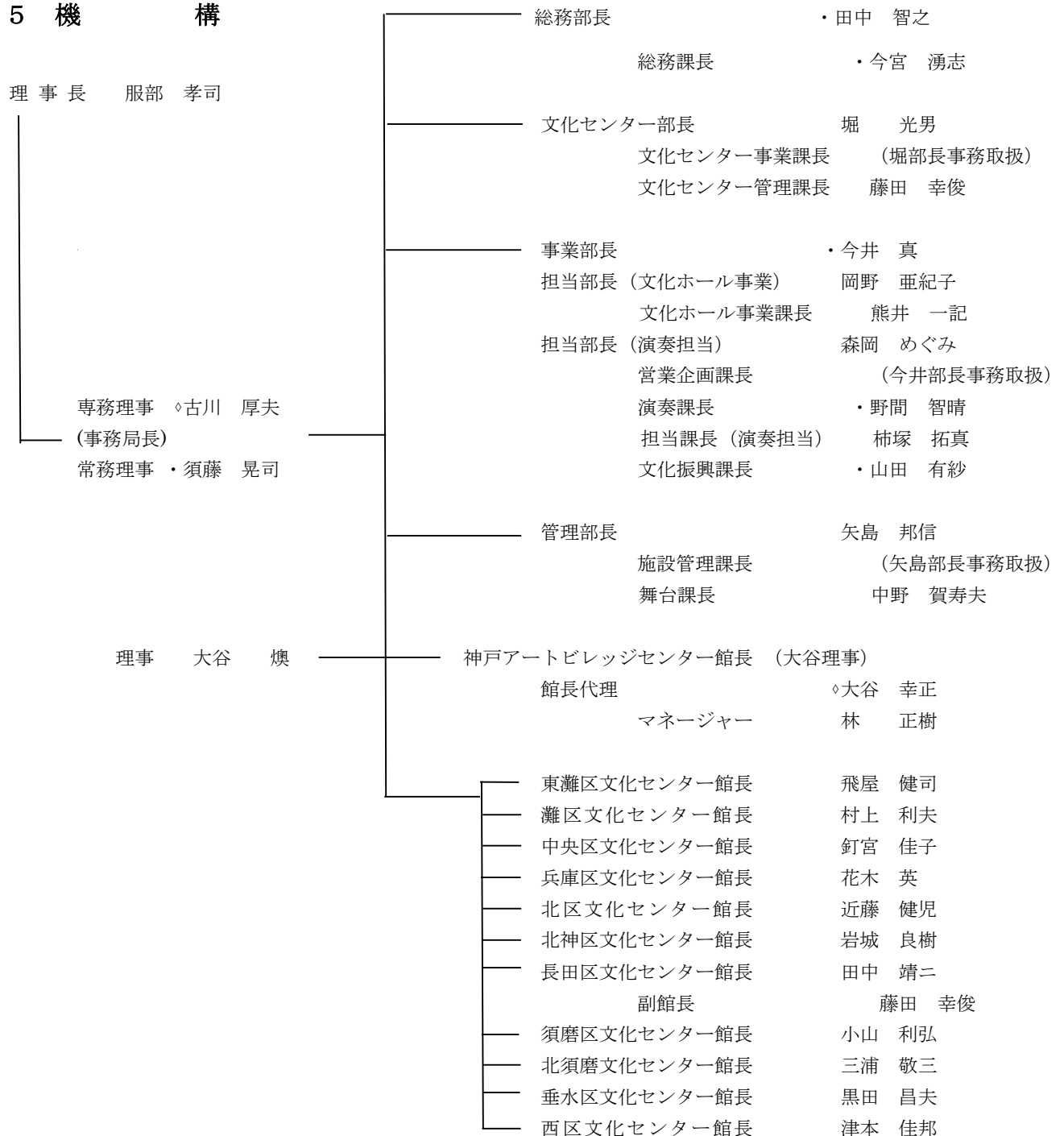
I 神戸市民文化振興財団設立の趣旨

心の豊かさを内包した生活の質向上を求めようとする市民の幅広い多様な文化的欲求に対応し、神戸文化を育て、自由な発想にもとづく文化活動の豊かな展開をすすめるため、神戸市民文化振興財団を設立したものである。

II 神戸市民文化振興財団の概要

- 1 名 称 公益財団法人 神戸市民文化振興財団
- 2 設立年月日 設立許可 昭和 57 年 10 月 1 日
 設立登記 昭和 57 年 10 月 1 日
 公益財団法人移行登記 平成 24 年 4 月 1 日
- 3 所在地 神戸市中央区楠町 4 丁目 2 番 2 号
- 4 基本財産 216,910 千円（神戸市出捐 100,000 千円 46.1%）

5 機 構



(注) ・は神戸市派遣職員、*は神戸市再任用職員、◇は神戸市嘱託職員

6 職員数

(令和4年7月1日現在)

所 属	理事長	専務理事 事務局長	常務理事	部 長 ・ 館 長	課 長	係 員	計
総 務 部	1	1	1 (1)	1 (1)	1 (1)	7	12 (3)
文化センター部				1	1 (1)	5	7 (1)
事 業 部				3 (1)	4 (2)	18 (1)	25 (4)
管 理 部				1	1	7	9
神戸アート ビレッジ センター				1	1	11	13
東灘区文化 センター				1		3	4
灘区文化 センター				1		3	4
中央区文化 センター				1		3	4
兵庫区文化 センター				1		3	4
北区文化 センター				1		1	2
北神区文化 センター				1		2	3
長田区文化 センター				1		4	5
須磨区文化 センター				1		4	5
北須磨文化 センター				1		3	4
垂水区文化 センター				1		3	4
西区文化 センター				1		2	3
合 計	1	1 (0)	1 (1)	18 (2)	8 (4)	79 (1)	108 (8)

※ () は、人数のうち、神戸市派遣職員数。

7 役 員 等

(1) 評議員

(令和4年7月1日現在)

役職名	氏名	所 属
評 議 員	井 上 和 世	声楽家
評 議 員	加 藤 隆 久	神戸芸術文化会議議長
評 議 員	加 藤 久 雄	神戸市文化スポーツ局長
評 議 員	佐 藤 友 美 子	学校法人追手門学院理事
評 議 員	玉 岡 か お る	作家
評 議 員	矢 崎 和 彦	株式会社フェリシモ代表取締役社長
評 議 員	山 本 孝 子	一般社団法人神戸市婦人団体協議会会長
評 議 員	山 本 裕 之	神戸親和女子大学発達教育学部児童教育学科教授

(2) 理事・監事

役職名	氏名	所 属
理 事 長	服 部 孝 司	
専 務 理 事	古 川 厚 夫	
常 務 理 事	須 藤 晃 司	(神戸市文化スポーツ局 担当部長)
理 事	伊 藤 紀 美 子	田嶋株式会社代表取締役社長
理 事	大 谷 燿	特定非営利活動法人DANCE BOX代表
理 事	木 田 聖 子	株式会社チャイルドハート代表取締役社長
理 事	道 満 雅 彦	オリバーソース株式会社代表取締役社長
理 事	西 上 三 鶴	公益財団法人兵庫県芸術文化協会理事長
理 事	藤 野 一 夫	公立大学法人芸術文化観光専門職大学副学長
理 事	宮 本 慶 子	兵庫県音楽活動推進会議代表
監 事	清 水 好 央	税理士
監 事	中 嶋 展 也	弁護士

Ⅲ 定款

公益財団法人神戸市民文化振興財団定款

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人神戸市民文化振興財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を兵庫県神戸市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、神戸市民の文化活動の振興に資する事業を行い、もって個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 市民の生活文化活動及び芸術文化活動の振興
 - (2) 市民の国際文化交流の促進
 - (3) 市民文化の振興に係る情報の収集及び提供
 - (4) 文化施設の管理運営
 - (5) 神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の運営
 - (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項各号の事業は、兵庫県において行うものとする。

第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な別表の財産は、この法人の基本財産とする。

- 2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならない、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長(第21条に規定する理事長をいう。以下同じ。)が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 正味財産増減計算書
 - (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第9条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則（平成19年内閣府令第68号）第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする

第4章 評議員

(評議員の定数)

第10条 この法人に評議員8名以上12名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、評議員選定委員会（以下「委員会」という。）において行う。

2 委員会は、評議員1名、監事1名、事務局員1名、次項の定めに基づいて選任された外部委員2名の合計5名で構成する。

3 委員会の外部委員は、次のいずれにも該当しない者を理事会において選任する。

- (1) この法人又は関連団体（主要な取引先及び重要な利害関係を有する団体を含む。以下同じ。）の業務を執行する者又は使用人
- (2) 過去に前号に規定する者となったことがある者
- (3) 第1号又は前号に該当する者の配偶者、3親等内の親族、使用人（過去に使用人となった者も含む。）

4 委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することができる。委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

5 委員会に評議員候補者を推薦する場合には、次の事項のほか、当該候補者を評議員として適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

- (1) 当該候補者の経歴
- (2) 当該候補者を候補者とした理由
- (3) 当該候補者とこの法人及び役員等（理事、監事及び評議員）との関係
- (4) 当該候補者の兼職状況

6 委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

7 委員会は、前条で定める評議員の定数を欠くこととなるときに備えて、補欠の評議員を選任することができる。

8 前項の場合には、委員会は、次の事項も併せて決定しなければならない。

- (1) 当該候補者が補欠の評議員である旨
- (2) 当該候補者を1名又は2名以上の特定の評議員の補欠の評議員として選任するときは、その旨及び当該特定の評議員の氏名
- (3) 同一の評議員（2名以上の評議員の補欠として選任した場合にあっては、当該2名以上の評議員）につき2名以上の補欠の評議員を選任するときは、当該補欠の評議員相互間の優先順位

9 第7項の補欠の評議員の選任に係る決議は、当該決議後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで、その効力を有する。

(評議員の任期)

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第13条 評議員に対して、各年度の総額が100万円を越えない範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 評議員には、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第18条 評議員会の議長は、評議員会において、出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第19条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第21条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第20条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び出席した評議員のうち評議員会において選出された2名が、前項の議事録に記名押印する。

第6章 役員

(役員の設定)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 8名以上12名以内
 - (2) 監事 2名以内
- 2 理事のうち1名を理事長とする。
 - 3 理事長以外の理事のうち、1名を専務理事及び2名以内を常務理事とすることができる。
 - 4 第2項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成18年法律第48号。以下「一般法人法」という。)上の代表理事とし、前項の専務理事及び常務理事をもって一般法人法第197条において準用する一般法人法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第22条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、専務理事及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 理事長、専務理事及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

- 2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第26条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第27条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

- 2 理事及び監事に対して、その職務を執行するために要する費用を弁償することがで

きる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

(顧問)

第28条 この法人に、顧問を置くことができる。

2 顧問は、次の職務を行う。

- (1) 理事長の相談に応じること
- (2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること

3 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。

4 顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。

第7章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第30条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職

(招集)

第31条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般法人法第197条において準用する一般法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第33条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第34条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条、第4条及び第11条についても適用する。

(解散)

第35条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第36条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号。以下「認定法」という。）第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第37条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第38条 この法人の公告は、電子公告により行う。

- 2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法による。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号。以下「整備法」という。）第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

- 2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

- 3 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

石 阪 春 生
井 上 和 世
大 谷 幸 正
加 藤 隆 久
下 村 俊 子
妹 尾 美 智 子
津 村 正 男
長 崎 泰 裕
新 野 幸 次 郎
板 東 慧
湯 浅 叡 子

- 4 この法人の設立の登記の日に就任する理事は、次に掲げる者とする。

辻 村 博 邦
山 上 正 輝
榊 原 均
植 松 奎 二
栗 原 慶 子
藤 野 一 夫
難 波 裕 子
山 田 弘

- 5 この法人の最初の理事長は 辻村 博邦、専務理事は 山上 正輝、常務理事は 榊原均とする。

- 6 この法人の設立の登記の日に就任する監事は、次に掲げる者とする。

清 水 好 央
水 嶋 輝 雄

附 則

- 1 この定款は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この定款は、平成30年4月1日から施行する。

別表 基本財産（第5条関係）

財産種別	物量等
投資有価証券等	216,910,000 円

IV 令和3年度事業報告

1 概 要

令和3年度は、引き続き新型コロナウイルスの影響があり、当財団の事業についても前年度より少ないものの中止・延期せざるを得ないものもあった。

第10回神戸国際フルートコンクールについても、コロナ禍が収束せず、最終的に第一次審査から本選まで全てオンラインで開催することとなったが、そのような状況下でも、過去最多の483人の応募があり、またオンラインでの視聴数は延べ16万回となるなど、オンラインならではの手軽さや利便性のある取り組みを実施した。また、オペラ de 神戸「椿姫」では、指揮者として国際的に評価の高い佐渡裕氏を招聘し、兵庫県立芸術文化センターの協力を得て多彩な関連プログラムを組み込みながら取り組んだ。「マーキュリー・ファー」では、若い世代を中心に人気の高い俳優の主演で新たな観客を取り込むだけでなく、全国屈指の先進的な公共ホールと連携し事業を実施した。

また、地元アーティスト等の文化芸術関係者を対象とした「こうべ文化芸術相談窓口」ウェブサイトを開設し、専門家等と連携した支援を行った。

感染症の収束が見通せず、財政的にも厳しい状況の中でも、文化・芸術の灯を消さないために事業の在り方や開催方法について、様々な方法を模索するなど試行錯誤を続けている。

(1) 第10回神戸国際フルートコンクール

1985年の創設以来4年毎に開催し、国際舞台の第一線で活躍するフルーティストを数多く輩出するコンクールとして世界的に高く評価されている本事業であるが、今回はコロナ禍が収束せず、最終的に第一次審査から本選まで全てオンラインで開催することとなった。結果として過去最多の483人の応募があり、またオンラインでの視聴数は延べ16万回となった。関連事業では「Deconstructed(脱構築)」シリーズとして、日ごろクラシック音楽に接点のない人たちへのアプローチを試み、“モノづくり”や“キャリアプラン”の観点を取り入れたプログラムを展開した。

(2) オペラ de 神戸「椿姫」

平成25年度の神戸文化ホール開館40周年記念事業として始まった、神戸を中心に活動する音楽家や公募で選ばれた市民コーラス等の協同による市民オペラ。4回目を迎え、指揮者として国際的に評価の高い佐渡裕氏を招聘し、兵庫県立芸術文化センターの協力を得て多彩な関連プログラムを組み込みながら取り組んだ。事業を通して財団の企画力はもとより、発信力等を磨き、スタッフの知見を高めながら、次世代の文化芸術を担う人材を育成するとともに、オペラの魅力を身近にまた幅広く市民に伝えながら神戸の文化水準の向上に貢献した。

(3) フィリップ・リドリー×白井晃「マーキュリー・ファー」

イギリスの劇作家フィリップ・リドリーがイラク戦争に触発され2005年に書き下ろした戯曲を、今年度から世田谷パブリックシアターの芸術監督に就任した白井晃が演出した演劇公演。暴力と略奪がはびこる荒れ果てた世界であぶりだされる人間の本质とともに、生きること、愛することを渴望する人間の美しさが描かれた衝撃作。主演の兄弟を若い世代を中心に人気の高い吉沢亮と北村匠海が務め、当ホールにとっては新しい客層が殺到し満席完売公演となった。また世田谷パブリックシアターや兵庫県立芸術文化センターなどの企画製作に実績を持つ先進的な公共ホールとも連携し制作力を磨いた。

(4) 新開地カブキモノ大興行 vol. 4

4年目を迎えた「新開地カブキモノ大興行」は、ダンサーの長井江里奈・山猫団が、地元メンバーの新開地舞踊歌劇団と共に「新開地音頭」を創作し、商店街のパレードを行いまちの賑わいを創出するとともに、近隣中学校へのアウトリーチを行い教育機関との連携を実施した。

(5) こうべ文化芸術相談窓口

令和3年11月より、新型コロナウイルスの影響を受け活動の場が減っている地元アーティスト等の文化芸術関係者を対象とした「こうべ文化芸術相談窓口」ウェブサイトを開設し、文化芸術活動の継続や新たな活動の展開等に関する相談に対し、専門家等と連携し情報提供や助言等を行った。令和3年度は約5か月間で35件の相談に対応した。

2 事業の実施状況

公益目的事業

1 文化振興事業

(1) 事業方針

- ・市民の文化向上に資する質の高い鑑賞型事業の提供
- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・市民参加型芸術文化事業の充実
- ・地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援
- ・情報収集・提供の充実（多様な文化芸術の紹介）
- ・芸術文化を担う人材の育成
- ・財団が有する資源や創造機能を活用した発信

(2) 事業内容

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和3年度に予定していた40事業のうち、「神戸市吹奏楽祭」「こうべ全国洋舞コンクール」をはじめとする8事業が中止となった。また、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL2021」については、ホールでの開催を見合わせ、開催方法をVTR審査へ変更して事業を実施した。

①市民の文化の向上に資する質の高い鑑賞型事業の提供

市民に感動を与え、感性や創造性を育む質の高い芸術を鑑賞出来る機会を提供するとともに、フルートコンクールの市民への浸透を図るため、「KOBE ミュージックポート」においてフルートを中心としたコンサートを様々な場所で開催した。併せて、「オペラ de 神戸」関連事業として、音楽レクチャーやトークレクチャー、学校へのアウトリーチを実施し、身近な環境における優れた芸術鑑賞機会の提供を図った。

②芸術文化による神戸ブランドの創造発信

世界的に高く評価され、歴史と権威のある「第10回フルートコンクール」の市民への浸透を図るため、トークレクチャー等に取り組んだ。また、「ジャズの街神戸」推進事業として、神戸市近郊で活動する中高生、アマチュア、プロなど計6組の出演者によるイベント「KOBE JAZZ DAY 2021」を実施したほか、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営、ラジオ番組の制作・放送を行うなど、「ジャズの街・神戸」を発信する取り組みを行った。

③市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「KOBE ミュージックポート」の取組みとして市民参加による「大人数によるフルートアンサンブル」や「中高生向けフルートクリニック」「子ども向けフルート体験」を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止し、フルートの名手によるコンクール応援コンサートとして、鑑賞型事業に内容を変更して開催した。また、コンクールの直前からはデュオ神戸にてエールステーションを開設し、市民の運営による応援ステージイベントを開催した。その他、一般公募で選ばれたソリスト・合唱団員らが出演する「オペラ de 神戸（再掲）」や、「シャンソン・ポピュレールコンクール」等の市民参加型事業を展開した。

④地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体への活動支援および協力関係の強化を図るとともに、「神戸市吹奏楽祭」の実施や、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL (VTR 審査)」等を通じて、今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援した。

⑤情報収集・提供の充実（多様な文化芸術の紹介）

神戸及びその近郊の様々な芸術文化活動を幅広く紹介する「KOBE C 情報」のポータルサイト及び SNS を活用し、情報発信を図った。

⑥芸術文化を担う人材の育成

各種事業の企画・実施を通じて、アートマネジメント能力の向上を図るなど、「担い手」としての養成・機会確保に努めた。

⑦財団が有する資源や創造機能を活用した発信

財団が有する資源や創造機能を活かし、芸術文化を支えていくことは重要である。財団自らの企画・制作及び発信の取り組みに加え、特にコロナ禍で活動機会、企画、資金、拠点、広報、連携先等々で悩みを抱える地元アーティストや文化芸術関係者への相談・助言を通じた支援業務に取り組んだ。

令和3年11月より、新型コロナウイルスの影響を受け活動の場が減っている地元アーティスト等の文化芸術関係者を対象とした「こうべ文化芸術相談窓口」ウェブサイトを開設し、文化芸術活動の継続や新たな活動の展開等に関する相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携し情報提供や助言等を行った。令和3年度は約5か月間で35件の相談に対応した。

<相談件数>

資金調達	活動拠点	広報	その他	合計
17	7	7	4	35

※期間 令和3年11月8日～令和4年3月31日

(3)文化振興事業実績

(単位：人)

事業名		開催時期	開催場所	入場者数
音楽	「ジャズの街神戸」発信事業	4月～3月	神戸文化ホール 他	360
	全日本シャンソン・ポピュラーコンクール	九州大会5/9 東京大会6/22 東北大会6/23 神戸大会7/10 中部大会5/30	全国5か所	477
		セミファイナル8/7	うはらホール	
		ファイナル9/18	神戸文化ホール	
	YAMANO BIG BAND JAZZ CONTEST西日本予選(中止)	6/6	神戸文化ホール	—
	神戸三曲協会演奏会等(一部中止)	6/27, 3/20	神戸文化ホール 他	130
	室内楽名曲シリーズ	6/27, 11/21	うはらホール 神戸文化ホール	549
	第10回神戸国際フルートコンクール関連事業	7月～3月	神戸文化ホール他	4,503
	KOBEミュージックポート	7月～3月	市内各所	905
	神戸ジャズ道場(中止)	8/5～8/7	神戸セミナーハウス	—
	JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/20～8/22	オンライン開催 (動画審査)	—
	子どものためのコンサート「ばばばパーカッション! 出かけよう打楽器の旅へ～」	9/18	舞子ビラあじさいホール	157
	神戸市吹奏楽祭(一部中止)	11/3	神戸文化ホール	791
	神戸フィルハーモニック定期演奏会等(一部中止)	11/13, 1/15, 3/21	神戸文化ホール	1,449
	母親コーラス「モーブガレット交歓会」等(中止)	12/2, 3	神戸文化ホール	—
神戸ユースジャズオーケストラ新春LIVE	1/9	100BANホール	40	
KOBE NEWAGE JAZZ CONCERT 2022 (ユースジャズオーケストラ出演)	3/13	ジーベックホール	109	
演劇 舞踊	神劇まわり舞台	4月～3月	市内各所	583
	こうべ全国洋舞コンクール(中止)	5/2～5/5	神戸文化ホール	—
文化振興事業合計				10,053

2 演奏事業

(1) 事業方針

- ・神戸文化ホールおよび文化センター等における質の高い演奏の提供
- ・演奏水準のさらなる向上
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

(2) 事業内容

コロナ禍による影響について、昨年度に比べ中止・延期数は減少（令和2年度は55事業）したものの、予定していた120事業のうち、依頼公演を中心に15事業が中止となり、18事業が延期となった。

①神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団では神戸文化ホールでの定期演奏会・合同演奏会において、新音楽監督による指揮・プロデュースにより演奏水準のさらなる向上とともに、音楽的アイデンティティを確立し集客力の強化を図った。

また、文化センターでは解説付きやファミリー向けなど新たなファン層を獲得するため、趣向を凝らした演奏会を開催した。

②楽団の周知・魅力発信の取り組み

令和3年度より、両団それぞれのSNS（ツイッター、フェイスブック）を開設し、音楽ファンへの働きかけを強化した。合同演奏会では、チケットが完売となり、新聞紙上で関西地区でのクラシック演奏会の「今年の3本」の1本に選ばれるなどの高い評価を得た。

2つの楽団を持つ強みを活かし、合同公演を文化センターで実施したほか、コンクール課題曲映像の収録・配信（無料）、公共空間でのまちなかコンサートを行い、楽団の周知および魅力を発信し、主催公演への集客や新たな依頼公演の獲得につながるよう、効果的なプログラムの企画に取り組んだ。また、次代を担う子ども達に対する鑑賞機会の提供のため、子どもと一緒に鑑賞できるコンサートを文化センターで実施したほか、6年間で市内全小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業（3年目）」に地元の音楽家とも連携し継続して取り組んだ。

なお、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」および特別支援学校へのアウトリーチ事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

項目	自主公演	依頼公演	合計
公演数	35 (9)	85 (24)	120 (33)
入場者数	5,856	12,622	18,478

※括弧内は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、延期となった事業・公演数（内数）

(3) 演奏事業実績

【自主公演】

(単位：人)

事	業	名	開	催	時	期	開	催	場	所	入	場	者	数
神戸市室内管弦楽団	定期演奏会 (第149～152回)		4/10				神戸文化ホール (中)				296			
			7/17				神戸文化ホール (中)				289			
			9/25				神戸文化ホール (中)				289			
			2/26				神戸文化ホール (中)				382			
		わがまちコンサート ピフレ		4/23		9/17		1/21	ピフレホール				337	
		ベートーヴェンの森公開講座【第5弾】		5/29				①須磨区文化センター・②東灘区文化センター				24		
		あなたに贈るコンサート		6/12				すずらんホール				115		
			11/20				うはらホール				111			
		ベートーヴェン・チクルス (第4回)		6/27				神戸文化ホール (中)				373		
		弦楽合奏アウトリーチ		7/30		11/19		デュオこうべ				230		
	こどもコンサート		7/31				うはらホール				397			
		8/1				なでしこホール				204				
神戸市混声合唱団	わがまちコンサート ピフレ		6/4		8/6		ピフレホール				415			
	あなたに贈るコンサート		7/4				ありまホール				174			
			10/17				なでしこホール				331			
	定期演奏会		9/11				神戸文化ホール (大)				411			
			3/5				神戸文化ホール (大)				236			
	こどもコンサート		3/27				灘区民ホール				206			
合同	あなたに贈るコンサート		5/22				神戸文化ホール (中)				192			
			1/9				ありまホール				216			
	合同演奏会		12/12				神戸文化ホール (中)				628			
演奏事業合計											5,856			

【依頼公演】

	公演数	入場者数
神戸市室内管弦楽団	7 (1)	2,244
神戸市混声合唱団	41 (12)	5,636
合同	37 (11)	4,742
合計		12,622

※括弧内は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、延期となった事業・公演数 (内数)

3 神戸文化ホール公演事業

(1) 事業方針

- ・文化ホールを拠点とした芸術創造・発信事業の展開
- ・優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供及び鑑賞を深めるための関連企画の実施
- ・財団のネットワークを活用した市民・芸術家・文化団体・他地域の文化施設などとの交流及び連携事業の実施

(2) 事業内容

新型コロナウイルスについては、さまざまな対策を講じることが出来るようになってきたため、令和2年度と比較して中止となる事業は減少した。また、令和3年9月以降に実施した公演からは国の感染対策方針が緩和されたこともあり、基本的に収容数を概ね100%に戻して開催した。その結果、時期や企画内容によっては前売チケットが完売となる公演もあった。一方、国際フルートコンクールのような海外からの参加者を見込んだ事業は、規制も未だ厳しくオンライン開催を余儀なくされた。しかしながら、配信の技術も向上し、手軽さや利便性が高まったことにより、タイムリーな発信で世界規模での参加者や視聴者が増えた。

①芸術創造・発信事業

これまで二年に一度開催してきたオペラ de 神戸では、佐渡裕氏の協力を得て大作「椿姫」に取り組んだ。また、地元のアーティストや文化団体との協同開催として、他にも和太鼓松村組や貞松・浜田バレエ団も含め、関係者が感染対策について、適切な対応が出来るようになったことで、どの事業においても来場者がコロナ前に戻りつつあった。

②教育普及・育成事業

令和3年度の主要事業である「神戸国際フルートコンクール」については、海外からの参加者受け入れ時期と、国内のコロナ感染が増加する時期が重なったことによりオンラインでの開催となった。そのような中でも、関連事業として、「Deconstructed(脱構築)」シリーズに取り組み、フルートの魅力を多面的に紹介し新たな関心を高めた。

また、定番事業となりつつある「神戸文化ホールジャンボリー」は開催時期を夏から秋に移し、ホール全体を使い、屋外プログラムも充実させ、全館フェスティバルの一つのモデル形態をつくった。

一方で、阪神・淡路大震災直後から開催し続けた「オカリナフェスティバル」は一定の成果と役割を得て、今回を節目にファイナルとした。

③鑑賞・学習事業

新たな演目として松竹大歌舞伎に代わり市川海老蔵「古典への誘い」を実施。時期は未定であるが、来る市川團十郎襲名興行の神戸開催の可能性に繋げた。また、世田谷パブリックシアターなどと連携して現代演劇の先端ともいえる「マーキュリー・ファー」公演にも取り組んだ。人気の若手スターの主演で新たな観客が数多く来館し友の会の入会も増えた。また、全国屈指の先進的な公共ホールとも一緒に事業に取り組むことでスタッフの経験値やネットワーク力を高める機会となった。

(3) 文化ホール公演事業実績
 〈事業別〉

	事業数	公演数	入場者数
芸術創造・発信事業	18	20	13,189
教育普及・育成事業	6(1)	28(4)	1,338
鑑賞・学習事業	4	4	4,335
合計	28(1)	52(4)	18,862

※括弧内は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、延期となった事業・公演数（内数）

〈部門別〉

	事業数	公演数	入場者数	備 考
音 楽	18	37	11,469	クラシック10 合唱3 ポピュラー1 邦楽1 オペラ1 コンクール2
舞 踊	2	3	3,400	バレエ2
演 劇	3	3	2,573	演劇1 能1 歌舞伎1
演 芸	2	2	1,060	落語2
その他	3(1)	7(4)	360	能講座1 フェスティバル1 インリーチ(1)
合計	28(1)	52(4)	18,862	

※括弧内は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、延期となった事業・公演数（内数）

文化ホール公演実績

	事業名	日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
芸術 創造 ・ 発信 事業	神戸市室内管弦楽団 第149回定期演奏会	4月10日	中ホール	296
	合同演奏会「あなたに贈るコンサート」	5月22日	中ホール	192
	生誕250周年ベートーヴェン・チクルス 「ベートーヴェンの森」第4回	6月27日	中ホール	373
	神戸市室内管弦楽団 第150回定期演奏会	7月17日	中ホール	289
	神戸市混声合唱団 秋の定期演奏会	9月11日	大ホール	411
	神戸市室内管弦楽団 第151回定期演奏会	9月25日	中ホール	289
	和太鼓松村組 神戸公演2021 神戸市文化賞受賞記念「松村邦彦コンサート」伝承～TSUNAGU～	11月6日	大ホール	1,278
	市民の第九2021	12月11日	大ホール	703
	神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団 合同演奏会	12月12日	中ホール	628
	貞松・浜田バレエ団 特別公演 くすみ割り人形	12月18・19日	大ホール	2,751
	オペラ de 神戸「椿姫」	1月7・8日	大ホール	3,314
	青春落語道場 大倉亭 新春寄席2022	1月14日	中ホール	389
	兵庫県合唱祭“ミニ合唱祭”	1月22日	大ホール	210
	PRAY FROM KOBE 2022 ～明日につなげるコンサート～	1月23日	中ホール	507
	神戸市室内管弦楽団 第152回定期演奏会	2月26日	中ホール	382
	神戸市混声合唱団 春の定期演奏会	3月5日	大ホール	236
	貞松・浜田バレエ団特別公演 「創作リサイタル33」	3月19日	中ホール	649
	第十四回神戸能	3月20日	中ホール	292
	合計			
	事業名	日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
教育 普及 ・ 育成 事業	オカリナフェスティバルin神戸ファイナル	7月10・11日	中ホール	574
	第10回神戸国際フルートコンクール 第一次審査	8月26～9月5日	オンライン	-
	第10回神戸国際フルートコンクール 第二次審査～第三次～本選	3月22～28日	オンライン	-
	サマージャンボリー2021「コブホランドへいらしゃい」	10月2・3日	全館	312
	(中止)神戸文化ホールインリーチ事業	2月3・4日	大ホール	-
	第十三回神戸能プライベート～体験講座～	2月19日	練習室	48
	第10回神戸国際フルートコンクール オールスター・フルート・ガラ ～審査員コンサート 高木綾子&神田寛明 スペシャル	3月26日	中ホール	404
合計				1,338
	事業名	日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
鑑賞 ・ 学習 事業	市川海老蔵「古典への誘い」	9/18	大ホール	1,459
	ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団	11/23	大ホール	1,383
	マーキュリー・ファー	3/2	中ホール	822
	桂米朝一門会	3/6	中ホール	671
合計				4,335

4 神戸文化ホール貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

(2) 事業内容

コロナ禍については、昨年度と比較して施設の利用制限が緩和されたことにより、貸館事業において回復が見られ、利用件数は大きく向上した。(前年比大ホール 70件→191件、中ホール 106件→202件) また、コロナ感染拡大を機に、以前より要望のあった舞台袖における配信用のネット回線を常設。集客が困難な中、配信による新しい形でのコンテンツの提供を可能とした。

ネット回線貸出し利用実績 (令和3年6月1日～令和4年3月31日)
大ホール 10件、中ホール 7件

①弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、利用者ニーズに応じた弾力的な運用を継続実施した。

また、体制を強化した舞台スタッフによる専門性の高い舞台表現に対するアドバイスと舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営及び利用者のサポートを引き続き実施した。

②施設利用者、来館者のご意見を反映したホール運営

利用後のアンケート調査でお寄せいただいたご意見・ご要望を基に、ホール運営全般の改善に努めた。具体的には、オペレーターを増員して、チケット電話予約への迅速な対応を行った。ほかにも練習室において音楽利用が多いことから、譜面台を更新・各部屋に常設するなどの対応を行った。

③文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続して実施した。

④基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

ホール全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行うとともに、市と連携して、楽屋トイレの改修、熱源機器の整備、練習場を含む建物内の設備の改修の実施など老朽化した施設・設備の改修に取り組んだ。

(3) 貸館・管理事業実績

		大ホール	中ホール	練習場	合計
利用件数(件)		191	202	1,684	2,077
入場者数(人)		109,697	47,674	21,229	178,600
利用率 (%)	踏入率	61.5	69.2	71.1	
	実利用率	54.6	63.4	51.2	

(※収益事業による利用を含む)

① 神戸文化ホール利用状況表 (自主事業を含む) ※収益事業を含む

令和3年4月1日～令和4年3月31日

		大ホール		中ホール		合計	
部門	内 訳	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)
音楽	クラシック	73	26,571	55	11,625	128	38,196
	ポピュラー	17	17,637	13	3,009	30	20,646
	邦楽	2	1,278	6	770	8	2,048
	小 計	92	45,486	74	15,404	166	60,890
舞踊	舞踊等	28	12,940	63	14,064	91	27,004
演劇	演劇	0	0	24	10,128	24	10,128
	音楽劇	6	2,953	1	292	7	3,245
	小 計	6	2,953	25	10,420	31	13,373
演芸等	演芸・映画	5	6,819	8	2,350	13	9,169
大会行事等	大会・式典	14	7,284	11	1,822	25	9,106
	講演会・講習会	33	27,867	7	1,430	40	29,297
	小 計	47	35,151	18	3,252	65	38,403
その他		13	6,348	14	2,184	27	8,532
合 計		191	109,697	202	47,674	393	157,371
利用率(%)		61.5		69.2		65.4	
前年度利用率(%)		54.6		63.4		59.0	

注) ・利用率は、「利用日数/利用可能日数」(大ホール 182/296中ホール 198/286)

②神戸文化ホール練習場利用状況表 令和3年4月1日～令和4年3月31日

		合計
利用件数(件)		1,684
利用者数(人)		21,229
利用率(%)		71.1
前年度利用率(%)		73.6

5 神戸アートビレッジセンター（KAVC）事業

（1）事業方針

- ・先進的な芸術文化の事業の実施
- ・アートの世界への入り口となるワークショップや講座の実施
- ・市内外の文化施設や教育機関等との交流及び連携
- ・事業を通じたまちの賑わいづくり及び活性化への寄与

（2）事業内容

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策等の影響で、公演延期・中止となる厳しい状況となった。一方でオンラインワークショップやYouTube等での配信を行うなど、新規顧客の獲得を目指すとともに、感染対策をしっかりと行った上で、柔軟な対応で事業を実施した。

① 演劇・舞踊事業

関西で活動する若手劇団を1年間通して紹介するKAVC FLAG COMPANYの公演のほか、夏休みの期間中に高校生を対象にした演劇ワークショップGo!Go!High School Projectのオンライン公演を行った。令和4年度実施予定のプロデュース公演 手話裁判劇『テロ』に向けたオーディションを実施した。

② 美術事業

4回目を迎えた「ART LEAP」では、出品作家に船川翔司を迎え、新作個展「Hey, _」を開催した。参加者が幅広い興味に触れることを目指したワークショップ「はじまりのみかたシリーズ」や、シルクスクリーンのワークショップなどは、作品を作るだけでなく発表することを前提にした成果発表展も開催した。

③ 映像事業

KAVC CINEMAとして、商業的なシネマコンプレックスでは取り扱いの少ないドキュメンタリー作品や、美術や音楽などアートを題材にした作品を主に選択して上映した。また、特集上映として「三船敏郎特集」など貴重な35mmフィルムでの上映を行った。その他にも世界的に評価の高いナショナル・シアター・ライブの鑑賞機会を創出した。

④ 音楽・地域事業

神戸の単館映画館4館（パルシネマ・元町映画館・シネマ神戸・KAVC）が協働して開催するシネマポートフェスは、各館特徴のある映画の上映を行うとともに、周辺地域の商店（40店舗）が参加するスタンプラリーを開催してまちの賑わいを創出した。KAVCでのジャズヴォーカルクイーンコンテストは新型コロナの影響により中止となった。

(3) 神戸アートビレッジセンター事業実績
〈事業別〉

	事業数	公演数	入場者数
演劇・舞踊事業	9 (1)	73 (26)	2,455
美術事業	7 (1)	50	3,263
映像事業	12	532 (44)	3,998
地域事業	10	125 (5)	13,278
音楽・その他事業	4 (2)	5 (4)	140
合 計	42 (4)	785 (79)	23,134

※括弧内は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、延期となった事業（内数）

公演実績

令和3年4月1日～令和4年3月31日

	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
演劇・ 舞踊事業	(次年度延期)PM / 飛ぶ教室「港でカモメがやすんでいる日はね、千帆ちゃん」	4月2～4日	KAVCホール	-
	KAVC PLAY RADIO	4月-5月毎週火曜日	YouTube	792
	唐組「ビニールの城」	6月12～14日	湊川公園	502
	遊気舎vol.48「Eging☆Rock」	7月2日～4日	KAVCホール	330
	Gフォレスト「乱歩の嘘」	6月26日・27日	KAVCホール	236
	Go! Go! High School Project 2021	8月11-22日(WS)/22日(公演)	KAVCホール	304
	(中止)KAVC FLAG COMPANY「安住の地」	10月8日～11日	KAVCホール	-
	KAVC FLAG COMPANY「Opening Game」	10月10日	KAVCホール	46
	KAVC FLAG COMPANY「小骨座」	12月17日～19日	KAVCホール	175
	(次年度延期)KAVC FLAG COMPANY「Star Machine Project」	1月28日～29日	KAVCホール	-
	(次年度延期)KAVC FLAG COMPANY「劇団不労社」	2月11日～13日	KAVCホール	-
	(次年度延期)KAVC FLAG COMPANY「かのうとおっさん」	3月11日～13日	KAVCホール	-
	KAVC FLAG COMPANY関連ワークショップ	期間内1回	リハーサル室など	22
	はじめてのアクションワークショップ	12月27日	リハーサル室など	9
	プロデュース公演オーディション	3月21日	KAVCホール	39
演劇・舞踊事業合計				2,455
	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
美術事業	ART LEAP 2021	プレゼン7月25日 2月19日-3月13日	ギャラリー& 1Room シアター、スタ ジオ	1,536
	(中止)若手芸術家支援企画	11月20日-12月5日	アトリエ、ギャラリー	-
	シルクスクリーンワークショップ	随時	アトリエ	61
	はじまりのみかたワークショップ・成果作品展	随時	アトリエ、1room	1,666
美術事業事業合計				3,263
	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
映像事業	KAVCシネマ	通年	KAVCシアター	3,362
	特集映画上映	9月	KAVCシアター	620
	関連講座	1月、3月	会議室ほか	16
映像事業合計				3,998
	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
音楽事業	(中止)新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト	5月	KAVCホール	-
	(中止)新開地ミュージックストリート関連企画	5月	KAVCホール	-
	(中止)新開地夏まつり、冬まつり	夏・冬	1room、新開地商店街	-
	新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト 20周年記念コンサート	1月16日	KAVCホール	140
音楽事業合計				140
	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
地域事業	ワークショップひらめきのたねシリーズ(展示含む)	6,8,10,12,3月	1room	2,338
	でっかーい窓ガラスにみんなで大きな絵を描こう!!&消そう!!(夏)	描こう7月22日(木) 消そう8月22日(日)	1room	46
	CINEMA PORT フェス 2021	9月1日～10月24日(期 間延長)	KAVCシア ター・ギャラリー 他	9,230
	ダン活支援/第4回新開地カブキモノ大興行	11月10-14日 (WS/公演/パレード)	KAVCホール	208
	でっかーい窓ガラスにみんなで大きな絵を描こう!!&消そう!!(冬)	描こう11月 消そう12月	1room	24
	(一部中止)土曜マルシェ	毎月第2土曜日	1room	1,326
	音遊びの会	3月27日	KAVCホール	106
地域事業 合計				13,278
KAVC自主事業合計				23,134

6 神戸アートビレッジセンター（KAVC）貸館・管理事業

（1）事業方針

- ・ 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供
- ・ 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・ 利便性の向上
- ・ 市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・ with コロナにおける「新しい生活様式」を考慮した貸館推進

（2）事業内容

前年度に引き続き、国・市による新型コロナウイルス感染症対策を受けて、臨時休館に加え開館時間の短縮も行った。この影響により、開館日数はコロナ禍以前比で93%、貸館の総利用者数は61%に留まったが、前年度が41%だったことを踏まえると利用者は戻る傾向にある。また職員も、キャンセル料の返還対応業務と並行して、利用者への丁寧な感染対策指導や、自らも感染対策を徹底することで、継続した開館を実現した。

① 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供

貸館サービスを一律に提供できるように、内部マニュアルの整理や職員間での認識のずれを解消するためのコミュニケーションを活発に行い、公平な貸館サービスを提供する基盤を整備した。

② 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

「練習施設」、「発表施設」という施設の使用用途分類の徹底、シルクスクリーン工房への専任スタッフの配置によって、電話での一次対応の段階からストレスのない明確な案内体制での運用を可能にした。

③ 利便性の向上

利用者負担の少ない、事前申込制の抽選方法を引き続き行なった。また、アンケートにも要望があった、令和3年度導入のキャッシュレスシステムにおける収入比率が漸増しており、時代のニーズに適ったシステムへの刷新と利用者の利便性双方の向上を図ることに成功した。

④ 市民の芸術文化活動の促進・誘致

コロナ禍の中にあっても、1階のコミュニティスペース1 roomでのチラシ設置や神戸アートビレッジセンターの公式サイト内での公演紹介など広報協力を通じて積極的な支援を行った。また、新開地周辺の地域団体との連携・協働によるイベントも回数が限定されたものの、地域の活性化に貢献した。

⑤ with コロナにおける「新しい生活様式」を考慮した貸館推進

短縮開館時における短縮分の利用料の部分返還や、別日への振替の提案、柔軟なキャンセル対応、ネット配信環境構築への協力等を行うことで、利用者にとって納得のいく貸館運用を行った。

(3) 神戸アートビレッジセンター利用状況表（自主事業含む）

令和3年4月1日～令和4年3月31日

施設名	利用者数	踏入件数 (利用件数)	踏入率 (利用率)	前年度 踏入(利用率)
多機能ホール(KAVCホール)	20,320	160 (437)	60.1% (54.7%)	57.9% (52.8%)
視聴覚ホール(KAVCシアター)	5,871	208 (608)	75.8% (73.9%)	67.3% (65.6%)
リハーサル室(1・2)	15,545	441 (819)	81.1% (50.2%)	71.6% (38.3%)
ギャラリー	12,128	218 (654)	77.9% (77.9%)	74.8% (74.8%)
アトリエ	201	60 (60)	21.6% (7.2%)	27.7% (9.2%)
スタジオ(1・2・3)	3,313	340 (615)	42.6% (25.7%)	35.4% (21.8%)
会議室(1・2)	6,797	285 (626)	53.1% (38.9%)	46.5% (32.5%)
貸館合計	64,175	1,712 (3819)	57.5% (42.8%)	51.7% (37.0%)
1room入場者数	44,923			
総入場者数	109,098			

開館日数	285
------	-----

7 文化センター講座・地域連携事業

(1) 事業方針

- ・長年別々の活動を展開してきた区民センター、勤労市民センター、北須磨文化センターを令和2年度に文化センターとして統合、講座事業及びイベントを統一して企画運営し地域住民と共に歩む文化センターとして文化活動を地域に定着化促進
- ・6か月の期間で実施していた定例講座事業を3か月に再構築して実施
- ・財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用
- ・コロナの影響で令和2年度に中止した文化センターと神戸文化ホールの連携事業である年末恒例の「市民の第九」コンサートを感染防止対策を実施し開催

(2) 事業内容

予定していた216事業のうち、90事業が中止・延期となった。また、「市民の第九2021」については合唱団員を例年の半数120名ほどに制限し、合唱時のマスク着用や開場時の誘導などの取り組みを行い、事業を実施した。

① 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツ等の講座について、「市民の入講しやすさ」を考え、年2回募集の定例講座を春・夏・秋・冬の4回募集で実施した。また、伝統芸能の伝承等、公益財団法人として取り組む必要のある講座等にも配慮しつつ、新たな受講者の開拓も図るためオンライン講座を令和2年度に、引き続き実施した。

② 地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

コロナ禍の影響は受けたが、住民の「発表する」ニーズ及び専門家による芸術文化を「鑑賞する」ニーズに応える地域住民参加型の自主事業「イベント事業」を開催。地元音楽家による演奏会（東灘区文化センター「七夕コンサート」など）や講座受講生による作品展など、地域の文化活動の場を提供した。各地域の歴史や伝統文化（北区文化センター「農村歌舞伎」など）、個性を生かしつつ、参加や鑑賞等、住民が芸術文化に触れたり、日頃磨いた技を発表したり（定例講座発表会など）、お互いに交流する機会となる「地域文化活性化事業」を企画実施した。

③ CS神戸との協働事業

神戸いきいき勤労財団から引き継いだ生涯学習事業に取り組むNPO法人「CS神戸（コミュニティーサポートセンター）」と、拠点のある灘区文化センターとの従来の協働事業を新たに兵庫区文化センターでも実施した。

(3) 講座事業実績

令和3年4月1日～令和4年3月31日

		東灘区文化センター	灘区文化センター	葺合文化センター	生田文化会館	兵庫区文化センター	北区文化センター	北神区文化センター	長田区文化センター	須磨区文化センター	北須磨文化センター	垂水区文化センター	西区文化センター	計
定例講座	講座数	229	405	-	-	310	358	438	419	251	387	453	600	3,850
	定員(人)	3,926	7,047	-	-	6,152	6,576	5,486	8,466	3,653	7,828	8,517	10,090	67,741
	応募者数(人)	3,498	5,994	-	-	4,644	3,851	4,575	6,282	2,641	5,231	7,676	8,236	52,628
	応募率(%)	89.1	85.1	-	-	75.5	58.6	83.4	74.2	72.3	66.8	90.1	81.6	77.7
	受講者数(人)	3,109	5,543	-	-	4,293	3,606	4,282	5,665	2,467	4,667	6,947	7,275	47,854
	受講率(%)	79.2	78.7	-	-	69.8	54.8	78.1	66.9	67.5	59.6	81.6	72.1	70.6
随時講座	講座数	11	3	-	1	9	26	26	-	4	16	4	17	117
	定員(人)	200	37	-	50	400	433	236	-	73	1,032	60	338	2,859
	受講者数	105	20	-	19	315	208	135	-	34	476	50	272	1,634
	受講率(%)	52.5	54.1	-	38.0	78.8	48.0	57.2	-	46.6	46.1	83.3	80.5	57.2
定例&随時講座受講率(%)		77.9	78.5	-	38.0	70.3	54.4	77.2	66.9	67.1	58.0	81.6	72.4	70.1
前年度の受講率(%)		74.9%	79.5%	43.3%	59.6%	72.1%	55.2%	79.2%	66.5%	62.4%	55.2%	79.7%	70.1%	69.9%

(事業実績) ※収益事業を含む

令和3年4月1日～令和4年3月31日

		東灘区文化センター	灘区文化センター	葺合文化センター	生田文化会館	兵庫区文化センター	北区文化センター	北神区文化センター	長田区文化センター	須磨区文化センター	北須磨文化センター	垂水区文化センター	西区文化センター	12センター計	合同イベント	合計
演奏会	回数	4	0	1	8	1	1	7	4	3	6	1	2	38	1	39
	来場者数	1,006	0	45	631	81	44	1,106	1,051	667	873	140	500	6,144	893	7,037
演劇・伝統芸能	回数	0	1	2	0	0	1	0	0	2	0	0	3	9	0	9
	来場者数	0	100	121	0	0	65	0	0	240	0	0	342	868	0	868
発表会	回数	3	2	0	4	0	1	6	0	1	8	0	3	28	0	28
	来場者数	623	600	0	441	0	204	1,369	0	552	0	0	1,352	5,141	0	5,141
その他	回数	1	1	3	5	5	9	10	5	2	0	2	5	48	0	48
	来場者数	565	306	2,789	726	1,085	2,856	809	356	183	103	29	843	10,650	0	10,650
合計	回数	8	4	6	17	6	12	23	9	8	14	3	13	123	1	124
	来場者数	2,194	1,006	2,955	1,798	1,166	3,169	3,284	1,407	1,642	976	169	3,037	22,803	893	23,696

8 文化センター貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ・料金割引制度や利用団体への広報・相談サポートなどの向上と積極的な広報活動による利用促進
- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供

(2) 事業内容

コロナ禍において、感染防止に注力し消毒作業・換気・清掃・アクリル板設置・検温計設置、更に換気が不十分な部屋には空気清浄機を設置することで、市民が少しでも安心して利用しやすい環境を提供。緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置の対象期間は特に換気・清掃の頻度を増やし、全館いずれもクラスターの発生も防ぎコロナによる大きな混乱もなく、感染症対策について、地域住民から評価する声をいただけた。

また、神戸市からの要請を受け一部文化センターの施設を新型コロナウイルスのワクチン接種会場として提供。令和3年度に続き令和4年度も3回目、4回目の接種推進のため引き続き会場提供に協力する。

神戸市こども家庭局こども未来課からの委託事業として、令和3年7月1日より中高生向けに空き会議室を開放する「中高生のための学習スペース」を12センターで開始した。平日の夜間、春・夏・冬休み期間は平日の終日に空き会議室を開放。平日夜間の利用は伸びなかったため、令和4年度は長期休み期間の平日終日での実施となる。

中央区にある葺合文化センター・生田文化会館・勤労会館が統合され、新たに令和4年7月19日にオープンする中央区文化センターについて当財団が指定管理者に選定された。

【ワクチン接種会場】

センター	会場	期間
灘区文化センター	大会議室等	令和4年3月1日～
北区文化センター	すずらんホール等	令和3年4月16日～
長田区文化センター	談話室等	令和3年4月16日～
垂水区文化センター	レバンテホール等	令和3年5月1日～令和4年3月31日

【中高生のための学習スペース】 期間：令和3年7月1日～令和4年3月31日

	平日夜間	平日終日	利用人数
12施設	141日	34日	5,607人

(3) 文化センター利用状況表

※利用率・・・実利用率

令和3年4月1日～令和4年3月31日

		東灘区文化センター	葺合文化センター	生田文化会館	灘区文化センター	兵庫区文化センター	北区文化センター	北神区文化センター	長田区文化センター	別館ビブレホール	須磨区文化センター	北須磨文化センター	垂水区文化センター	西区文化センター	合計	
貸室利用	大ホール・大会議室	利用者数	86,328	閉館	20,520	33,723	-	41,160	37,136	16,764	58,043	10,855	4,752	88,836	35,019	433,136
		利用件数	521		289	687	-	777	333	182	346	206	261	874	421	4,897
		利用率(%)	55.6%		30.8%	75.1%	-	82.9%	40.2%	19.9%	37.3%	22.0%	32.5%	94.2%	44.9%	49.0%
	会議室	利用者数	58,299	21,480	34,371	45,460	48,341	52,935	43,907	51,469	20,540	37,819	10,769	69,629	72,081	567,100
		利用件数	3,058	1,518	1,667	3,099	3,390	2,992	3,388	2,729	1,006	2,084	1,654	4,792	4,262	35,639
		利用率(%)	55.3%	27.5%	30.2%	67.7%	37.0%	54.1%	52.7%	33.1%	36.6%	37.7%	29.4%	58.2%	66.1%	45.1%
	特目室	利用者数	32,582	1,045	16,426	46,315	20,038	7,655	17,641	21,058	40,180	22,494	13,151	25,329	38,210	302,124
		利用件数	2,755	131	1,679	3,306	1,291	542	1,707	1,405	1,224	1,879	1,176	1,517	3,426	22,038
		利用率(%)	42.7%	14.2%	26.0%	40.1%	28.2%	19.6%	31.0%	25.6%	33.4%	34.0%	20.9%	33.2%	46.5%	32.8%
	体育室	利用者数	-	-	26,571	37,132	37,652	50,789	-	52,134	-	-	70,993	40,741	-	316,012
		利用件数	-	-	886	893	1,647	1,928	-	2,444	-	-	2,182	1,611	-	11,591
		利用率(%)	-	-	96.2%	97.6%	90.0%	69.8%	-	66.8%	-	-	90.6%	88.0%	-	80.9%
合計	利用者数	177,209	22,525	97,888	162,630	106,031	152,539	98,684	141,425	118,763	71,168	28,672	224,535	145,310	1,547,379	
	利用件数	6,334	1,649	4,521	7,985	6,328	6,239	5,428	6,760	2,576	4,169	3,091	8,794	8,109	71,983	
	利用率(%)	49.1%	25.6%	32.7%	54.5%	40.7%	52.0%	42.5%	36.9%	35.1%	34.8%	25.7%	56.5%	55.0%	42.8%	
前年度の利用率(%)		40.0%	20.5%	24.8%	45.8%	27.6%	39.8%	32.9%	30.3%	27.1%	26.8%	30.2%	44.6%	41.4%	34.1%	

【ワクデン接種会場での使用】

○接種会場

- ・灘区文化センター 場所:大会議室等
- ・北区文化センター 場所:すずらんホール等
- ・長田区文化センター 場所:談話室等 ※上記の集計データには含まず。
- ・垂水区文化センター 場所:レバンテホール等

期間:令和4年3月1日～
 期間:令和3年4月16日～
 期間:令和3年4月16日～
 期間:令和3年5月1日～令和4年3月31日

9 広報事業

文化振興事業の市民への周知、文化芸術への市民参加の機会拡充、財団の収益向上等の観点から、財団の広報体制を確立するとともに、メディアの活用など多様な手段により、これまで以上に積極的に広報PRに努めた。

(1) 神戸文化ホールからの情報発信強化

	回数	発行部数	備 考
ほーるめいと	6	18,000部/2ヶ月	神戸文化ホールで開催される自主事業や公演情報をまとめた広報誌。令和3年度に内容を一新し、デザインを整え、印象に残る誌面作りを心掛けるとともに、インタビュー記事を拡充し、訴求力を高めた。 会員を始め市内の文化施設や主要駅図書館などへの発送及び設置

(2) 文化センターからの情報発信強化

文化センターからの情報発信機能の充実強化を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、固定客・リピーター確保のための友の会運営に取り組んだ。

(3) 神戸アートビレッジセンターの情報発信強化

	回数	発行部数	備 考
マンスリーニュース	10	500部/月	KAVC で開催される自主事業、貸館事業のスケジュールをまとめたもの。 プレス等への発送と、KAVC 館内の設置・自主事業挟込等（毎月月末発行）
ART VILLAGE VOICE	4	8,000部/季刊（年4回）	KAVC の催し物や、新開地周辺地区の情報掲載した広報誌（年4回発行） 会員を始め全国の美術館、劇場、映画館など文化施設への発送

(4) インターネットによる情報発信

昭和57年より発行を続ける「KOBE C 情報」は、令和2年度から地元アーティスト・団体の芸術文化活動の広報支援ツールとして、主催者が簡単にイベント情報を登録でき、また、利用者がジャンル別や地域別に検索出来る機能を加えたポータルサイトにリニューアルし、情報発信に努めている。コロナ禍においても神戸の文化を絶やさないう、ネット広告の活用や、地域文化施設及び団体と広報連携したポスター作成など、今後のプラットフォーム形成に繋がるような広報を行った。

また、神戸文化ホール、神戸アートビレッジセンター、「ジャズの街神戸」推進協議会「JAZZ TOWN KOBE」、神戸国際フルートコンクールなどのホームページで、積極的な発信を行った。さらに、中央区文化センターのホームページを開設した

ほか、定例講座の案内サイトでは、スタッフブログ更新や、写真を多く用いて視覚的訴求を強化し、講座受講生獲得の促進を行った。併せて、Facebook や Twitter、Instagram など即時性の高い SNS で迅速に情報発信を行った。

演奏事業は有効なファンの開拓、固定化をはかるため、ターゲット層を明確にすることからネット発信戦略を練り直した。具体的には、楽団、合唱団の企画や演奏の価値を見極め、納得すれば支持もしてくれる音楽ファンでの知名度をあげることを第一段階とし、そこで形成された評判をもとに、一般市民へも広げていくという作戦である。楽団と合唱団では支持層が異なるため、合唱団のみであった公式ツイッター（フォロワー 1,070 名）に加えて室内管弦楽団の公式ツイッターを新設（フォロワー 372 名）合同のみであったフェイスブックを、楽団（フォロワー 182 名）と合唱団（フォロワー 303 名）に分割した。話題が盛り上がるよう、投稿内容にはさまざまな工夫をこらしている。公演告知のためのネットニュースを 2 本作成し、配信した。公演動画配信にも今後力をいれるため、令和 4 年度に向けて収録を進めた。

財団ホームページ訪問者数	2,970,503 人（月平均 247,542 人）
Facebook フォロワー数	7,305 人
Twitter フォロワー数	6,462 人
Instagram フォロワー数	1,721 人

※SNS のフォロワー数は文化センター部及び事業部、KAVC の各の合計。

（５）広報・PR の強化

コロナ禍で文化芸術活動を継続する市民を応援する目的及び財団事業の PR として、「文化を続けよう」と掲示した懸垂幕を神戸文化ホールに設置、神戸文化ホールのレジデント団体である神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団のアピールとして、両団音楽監督の写真入りの懸垂幕を常設設置した。

また、「こうべ文化芸術相談窓口」ではコロナ禍での事業継続や、新たな展開を探るアーティストをターゲットにしたネット広告を試行し、潜在ニーズを掘り起こし効果を検証するなど、コロナ禍での文化振興のあり方を模索した。

財団ホームページでは「理事長のつぶやき」ブログを設置し、財団トップからの積極的な広報に取り組んだ。

演奏事業では、12 月に次年度の企画全体を掲載した「シーズンブック」を初めて発行、その発表に際し、室内管弦楽団、混声合唱団の両音楽監督出席による記者発表を行い、注目を集めるとともに、マスコミ向けオンライン配信を行うなど、はじめての取り組みを行った。マスコミあてのニュースリリースはトピックスがあるときのみ発行となっていたが、全公演分の発行とオンライン配布を開始した。また配布先も雑誌やネット媒体まで広げた。チラシの作成については、第一ターゲット層（音楽ファン）に届かない仕様であったので、改良した。さらに公演毎に出演する著名なソリストによる記者懇談会を行う、音楽監督による雑誌社まわりなど新たな戦略的広報に努めた結果、新聞、雑誌、ネットニュースでの記事掲載が各段に増えた（一昨年度より、新聞記事だけでも 10 件増）。有効な広告戦略を練り、第一ターゲット層に向けて、一般紙、および音楽専門誌に掲載した。

収益事業

<収益事業>

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンション等文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場等神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要 大ホール、中ホール、リハーサル室、練習室 1～5、
多目的室、特別控室
自動販売機 : 7 台
駐車場（神戸文化ホール練習場） : 10 台

【貸館利用件数】 大ホール 合計 191 件 うち収益 63 件
中ホール 合計 202 件 うち収益 28 件

(2) 神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業

神戸アートビレッジセンターにおいて、地域の集会等文化活動以外を目的とする活動の場を提供した。また、自動販売機設置による利用者へのサービス向上を図った。

※施設概要 多機能ホール、視聴覚ホール、ギャラリー、リハーサル室 1～2、
会議室 1～2、スタジオ 1～3、1room 等
自動販売機 : 4 台

【貸館利用件数】 ホール 合計 437 件
シアター 合計 608 件
ギャラリー 合計 654 件
リハーサル室 合計 819 件
スタジオ 合計 615 件
アトリエ 合計 60 件
会議室 合計 626 件
貸館合計 3,819 件 うち収益 186 件

(3) 文化センター講座・地域連携事業

当財団が指定管理者として管理運営する文化センターにて、美容・スポーツ等の文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催した。

※例 講座 : 健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、スイミング等
自主事業 : コミュニティフェスティバル、卓球大会等

【定例講座件数】 合計 3,850 件 うち収益 1,028 件
【地域連携事業件数】 合計 126 件 うち収益 6 件

(4) 文化センター貸館・管理事業

指定管理者である文化センターにおいて、イベント等文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要 大ホール、会議室、多目的室、和室・音楽室・美術室・陶芸室、
体育館、プール等

自動販売機 : 40 台

駐車場（北神区文化センター） : 123 台

【貸館利用件数】 合計 66,463 件 うち収益 27,338 件

法人管理運営事業（法人運営全体に関わる事業）

（１）専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用した。

平成 30 年度から、職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的で開催し、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和 3 年度について、外部からの専門人材を登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を令和 2 年度に引き続き実施した。

（２）経営基盤の強化

事業における更なる経費の見直し、アウトソーシングによる業務の効率化などを進めるとともに、公益性の高い事業に対して国等からの外部助成金の積極的な獲得を行った。

また、当財団事業について、改めて再構築の観点から徹底的な見直しを進め、事業部毎の独立採算を目指し、令和 3 年度よりセグメント会計を導入した。

中期経営計画 2021 に基づく数値目標

【芸術文化の創造・発信】

	令和3年度目標	令和3年度実績	令和2年度実績
創造発信型事業の数	100	106	134

【普及啓発】

	令和3年度目標	令和3年度実績	令和2年度実績
アウトリーチ実施回数	35	118	96

【国際交流事業】

	令和3年度目標	令和3年度実績	令和2年度実績
海外芸術家等による公演等実施回数	17	0	0

【指定管理施設管理事業】

1 神戸文化ホール

		令和3年度目標	令和3年度実績	令和2年度実績
利用率 (踏入率)	大ホール	82%	61.5%	38.0%
	中ホール	88%	69.2%	58.5%
利用率 (実利用率)	大ホール	72%	54.6%	35.0%
	中ホール	76%	63.4%	50.7%
利用者数	大中ホール	55万人	157,371人	55,292人
	練習室含む	61万人	178,600人	77,994人
利用者満足度 (施設全般について良い・概ね良い・普通)		95%	96.0%	100%
友の会 加入数	個人	2,000人	1,002人	788人
	法人	18社	0	0

2 神戸アートビレッジセンター

		令和3年度目標	令和3年度実績	令和2年度実績
利用率 (踏入率)	ホール	65.0%	60.1%	57.9%
	シアター	80.0%	75.8%	67.3%
	ギャラリー	80.0%	77.9%	74.8%
利用率 (実利用率)	ホール	65.0%	54.7%	52.8%
	シアター	80.0%	73.9%	65.6%
利用者数		185,500人	109,098人	73,998人
利用者満足度		85.0%	99.35%	99.4%

※利用者数には自主事業の利用者数も含む

3 文化センター

		令和3年度目標	令和3年度実績	令和2年度実績
利用率 (踏入率)	全体	80.0%	67.1%	55.9%
	うちホール	73.0%	66.4%	52.6%
利用率 (実利用率)	全体	52.0%	42.8%	34.1%
	うちホール	47.0%	49.0%	30.8%
講座受講者数		40,000人※	47,900人	20,900人
利用者満足度		95%	98%	98%

※令和3年度目標値は12センターでの目標値

【財団管理・経営関係】

	令和3年度目標	令和3年度実績	令和2年度実績
経営目標（年度収支の均衡）	46,321千円	146,171千円	▲96,124千円

3 令和3年度決算

(1) 事業別収支計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日, 単位: 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
公益目的事業会計	1,972,410,054	公益目的事業会計	1,911,023,068
文化振興事業収入	55,672,508	文化振興事業支出	27,779,108
演奏事業関係収入	256,531,442	演奏事業関係支出	226,417,981
文化ホール公演事業収入	136,360,478	文化ホール公演事業支出	170,305,274
文化ホール貸館・管理事業収入	301,897,279	文化ホール貸館・管理事業支出	258,871,211
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	9,917,117	神戸アートビレッジセンター公演事業支出	20,750,645
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	147,930,800	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	127,809,136
文化センター講座等事業収入	296,452,871	文化センター講座等事業支出	307,317,106
文化センター貸館・管理事業収入	745,207,559	文化センター貸館・管理事業支出	749,297,692
あじさいホール運営収入	22,440,000	あじさいホール運営支出	22,474,915
収益事業等会計	801,387,592	収益事業等会計	716,307,504
文化ホール貸館・管理事業収入	54,326,021	文化ホール貸館・管理事業支出	44,331,403
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	15,972,740	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	12,901,927
文化センター講座等事業収入	151,616,431	文化センター講座等事業支出	145,371,304
文化センター貸館・管理事業収入	579,472,400	文化センター貸館・管理事業支出	513,702,870
法人会計	96,637,218	法人会計	96,933,067
財団管理運営事業収入	90,037,218	財団管理運営事業支出	90,838,875
営業企画収入	6,600,000	営業企画支出	6,094,192
当期収入合計 (A)	2,870,434,864	当期支出合計 (B)	2,724,263,639
		当期収支差額 (A) - (B)	146,171,225

* 神戸市からの収入

(1) 補助金 402,446千円

(2) 受託料 1,186,473千円

(2) 正味財産増減計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日, 単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	0	0	334,600	334,600
文化事業収益	420,022,533	151,616,431	0	571,638,964
文化施設等運営収益	0	0	0	0
管理受託収益	882,660,351	465,993,526	0	1,348,653,877
施設利用料金収益	306,517,236	181,718,168	0	488,235,404
受取補助金等	362,094,934	2,059,467	96,101,000	460,255,401
受取寄付金	1,115,000	0	0	1,115,000
受取利息	0	0	144	144
雑収益	0	0	201,474	201,474
経常収益計	1,972,410,054	801,387,592	96,637,218	2,870,434,864
(2) 経常費用				
事業費	1,911,023,068	716,307,504	0	2,627,330,572
管理費	0	0	96,311,067	96,311,067
経常費用計	1,911,023,068	716,307,504	96,311,067	2,723,641,639
当期経常増減額	61,386,986	85,080,088	326,151	146,793,225
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	29,411,064	△ 29,411,064		0
税引前当期一般正味財産増減額	90,798,050	55,669,024	326,151	146,793,225
法人税、住民税及び事業税	0	622,000	0	622,000
当期一般正味財産増減額	90,798,050	55,047,024	326,151	146,171,225
一般正味財産期首残高	△ 66,677,440	126,620,515	△ 92,902,357	△ 32,959,282
一般正味財産期末残高	24,120,610	181,667,539	△ 92,576,206	113,211,943
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	0	200,000,000
正味財産期首残高	133,322,560	126,620,515	△ 92,902,357	167,040,718
III 正味財産期末残高	224,120,610	181,667,539	△ 92,576,206	313,211,943

(3)貸借対照表

(令和4年3月31日現在, 単位: 円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	3,705,675	未払金	240,362,051
預金	236,231,469	前受金	152,894,256
未収金	135,186,469	預り金	12,574,249
前払金	2,546,515	賞与引当金	15,557,604
預け金	87,500		
流動資産合計	377,757,628	流動負債合計	421,388,160
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1)基本財産		退職給付引当金	6,552,001
投資有価証券	216,910,000	固定負債合計	6,552,001
基本財産合計	216,910,000	負債合計	427,940,161
(2)特定資産			
退職給付引当資産	6,552,001	III 正味財産の部	
神戸文化ホール50年事業積立資産	100,000,000	1. 指定正味財産	
特定資産合計	106,552,001	基本財産	200,000,000
(3)その他固定資産		指定正味財産合計	200,000,000
什器備品	7,234,545	(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)
保証金	32,697,930	2. 一般正味財産	113,211,943
その他固定資産合計	39,932,475	(うち基本財産への充当額)	(16,910,000)
固定資産合計	363,394,476	(うち特定資産への充当額)	(0)
		正味財産合計	313,211,943
資産合計	741,152,104	負債及び正味財産合計	741,152,104

(4)財産目録

(令和4年3月31日現在, 単位:円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金		未払金	
手元有高	3,705,675	神戸市精算金、未払法人税等	240,362,051
普通預金		前受金	
三井住友銀行ほか1行	230,169,663	文化ホール利用料等	152,894,256
振替預金		預り金	
ゆうちょ銀行	5,821,806	自主事業入場料収入等	12,574,249
定期預金		賞与引当金	15,557,604
三井住友銀行	240,000	流動負債合計	421,388,160
未収金	135,186,469		
前払金	2,546,515		
預け金	87,500		
流動資産合計	377,757,628		
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1)基本財産		退職給付引当金	6,552,001
投資有価証券		固定負債合計	6,552,001
地方債等	209,482,246		
普通預金	517,754		
定期預金	6,910,000		
基本財産合計	216,910,000		
(2)特定資産			
退職給付引当資産	6,552,001		
神戸文化ホール50年事業積立資産	100,000,000		
特定資産合計	106,552,001		
(3)その他固定資産			
什器備品	7,234,545		
保証金	32,697,930		
その他固定資産合計	39,932,475		
固定資産合計	363,394,476		
		負債合計	427,940,161
資産合計	741,152,104	差引正味財産	313,211,943

(5) 事業別収入明細書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日, 単位: 円)

科 目	収 入	内 訳						
		事業収入	指定管理料等 収入	補助金収入	助成金収入	利用料金 収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	1,972,410,054	420,022,533	882,660,351	308,945,000	53,149,934	306,517,236	1,115,000	0
文化振興事業収入	55,672,508	11,858,657	0	43,721,000	92,851	0	0	0
演奏事業収入	256,531,442	19,738,663	0	212,784,000	24,003,779	0	5,000	0
文化ホール公演事業収入	136,360,478	84,879,225	0	28,000,000	22,371,253	0	1,110,000	0
文化ホール貸館・管理事業収入	301,897,279	0	167,310,623	0	1,805,982	132,780,674	0	0
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	9,917,117	7,093,117	0	2,000,000	824,000	0	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	147,930,800	0	133,865,396	0	1,219,094	12,846,310	0	0
文化センター講座等事業収入	296,452,871	296,452,871	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	745,207,559	0	581,484,332	0	2,832,975	160,890,252	0	0
あじさいホール運営収入	22,440,000	0	0	22,440,000	0	0	0	0
収益事業等会計	801,387,592	151,616,431	465,993,526	0	2,059,467	181,718,168	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	54,326,021	0	31,482,191	0	308,751	22,535,079	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	15,972,740	0	14,556,318	0	122,782	1,293,640	0	0
文化センター講座等事業収入	151,616,431	151,616,431	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	579,472,400	0	419,955,017	0	1,627,934	157,889,449	0	0
法人会計	96,637,218	0	0	93,501,000	2,600,000	0	0	536,218
管理運営事業収入	90,037,218	0	0	86,901,000	2,600,000	0	0	536,218
営業企画収入	6,600,000	0	0	6,600,000	0	0	0	0
合 計	2,870,434,864	571,638,964	1,348,653,877	402,446,000	57,809,401	488,235,404	1,115,000	536,218

(6) 事業別支出明細書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日, 単位: 円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	1,911,023,068	264,164,212	1,646,858,856
文化振興事業支出 (あじさいホール事業を含む)	50,254,023	10,125,539	40,128,484
演奏事業関係支出	226,417,981	40,376,290	186,041,691
文化ホール関係支出	429,176,485	67,890,879	361,285,606
神戸アートビレッジセンター関係支出	148,559,781	47,927,565	100,632,216
文化センター関係支出	1,056,614,798	97,843,939	958,770,859
収益事業等会計	716,307,504	75,401,126	640,906,378
文化ホール関係支出	44,331,403	6,156,388	38,175,015
神戸アートビレッジセンター関係支出	12,901,927	4,827,047	8,074,880
文化センター関係支出	659,074,174	64,417,691	594,656,483
法人会計	96,933,067	62,981,481	33,951,586
管理費等支出	90,838,875	58,622,979	32,215,896
営業企画支出	6,094,192	4,358,502	1,735,690
合 計	2,724,263,639	402,546,819	2,321,716,820

(7)財務状況の推移

(単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	2 → 3増減	
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部	当期経常増減額	29,462	▲ 95,803	146,793	242,597
		経常収益	2,100,508	2,302,488	2,870,435	567,946
		うち公益	1,662,589	1,649,793	1,972,410	322,617
		うち公益以外	437,919	652,695	898,025	245,330
		経常費用	2,071,046	2,398,291	2,723,642	325,351
		うち事業費(公益)	1,650,682	1,720,018	1,911,023	191,005
		うち事業費(公益以外)	348,616	595,580	716,308	120,728
		うち管理費(公益)	0	0	0	0
		うち管理費(公益以外)	71,748	82,693	96,311	13,618
		評価損益等	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0	0	
	経常外収益	0	0	0	0	
	経常外費用	0	0	0	0	
	法人税、住民税及び事業税	1,061	322	622	300	
	当期一般正味財産増減額	28,401	▲ 96,125	146,171	242,297	
	一般正味財産期首残高	234,764	263,165	167,040	▲ 96,125	
	一般正味財産期末残高	263,165	167,040	313,211	146,171	
	指定正味財産	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
		指定正味財産増加額	0	0	0	0
指定正味財産減少額		0	0	0	0	
うち一般正味財産への振替額		0	0	0	0	
指定正味財産期首残高		0	0	0	0	
指定正味財産期末残高		0	0	0	0	
正味財産期首残高	234,764	263,165	167,040	▲ 96,125		
当期正味財産増減	28,401	▲ 96,125	146,171	242,297		
正味財産期末残高	263,165	167,040	313,211	146,171		
貸借対照表(B/S)	資産合計	535,790	684,491	741,151	56,660	
	流動資産	297,470	425,111	377,757	▲ 47,355	
	固定資産	238,320	259,380	363,394	104,015	
	うち建物	0	0	0	0	
	負債合計	272,626	517,449	427,940	▲ 89,509	
	流動負債	269,445	513,273	421,388	▲ 91,885	
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	3,180	4,177	6,552	2,375	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	正味財産合計	263,165	167,040	313,211	146,171	
指定正味財産	200,000	200,000	200,000	0		
一般正味財産	63,165	▲ 32,960	113,211	146,171		

V 令和4年度事業計画

1 概要

平成29年に改正された「文化芸術基本法」では、文化芸術の意義と価値を尊重しつつも、文化芸術そのものだけではなく、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育などと連携し、文化芸術により生み出されるさまざまな価値を活用することにより、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的としている。また、神戸市においては、「神戸2025ビジョン」やその具体的施策として、市の文化芸術施策が目指す姿や基本的な方向性を示す指針となる「神戸市文化芸術推進ビジョン」が策定されている。

これらのビジョン等を踏まえ、当財団でも、令和4年度から令和8年度までの実施計画である「中期経営計画2026」を策定し、神戸市民の文化の活動の振興に資する事業を行っていく。

令和4年度についても、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の見通しは不透明ではあるが、令和3年度にオンライン開催となった第10回神戸国際フルートコンクールの関連事業や神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団を核とした創造力あふれる企画発信を行っていく。

また、令和4年度に新たに開館する中央区文化センターの管理運営も行うことで、財団が市民により身近な存在となれるよう各区の特色に応じた事業を展開していく。

【主な事業内容】

(1) 第10回神戸国際フルートコンクール関連事業

1985年の創設以来、国際舞台の第一線で活躍するフルーティストを数多く輩出するコンクールとして4年ごとに開催され、令和3年度には第10回大会が行われた。しかしながら、同大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン開催となり、表彰式や披露演奏会を行えなかったため、通常はコンクール翌年に最高位者を招いて行う記念演奏会を拡充して、入賞者全員を招いた披露演奏会を特別に開催する。コンクールの開催地である神戸でフルートの生の音色を響かせることによりコンクール実施の意義を改めて市民とも共有し、有望な若きフルーティストを世界の楽壇に飛翔させる使命を果たしつつ、音楽を通じた国際交流や友好親善にも取り組んでいく。また、中学生を対象としたフルートクリニックやファミリーコンサートを実施し普及啓発にも取り組む。

(2) 音楽劇「気づかいルーシー」

シアターコクーンのアート監督も務める松尾スズキの原作、新進劇作家として注目を集めるノゾエ征爾の脚本・演出による音楽劇として開催。テレビや映画でも活躍する若手実力派俳優の岸井ゆきの、独特の個性が際立つ栗原類、またカンパニーデラシネラを率いてノンバーバル（言語を使わない）パフォーマンス等で高い評価を得る小野寺修二らが出演する。ファンタジーの体裁を取りながら社会風刺やシニカルな笑いも取り入れ、大人も子どもも楽しめる異色の音楽劇として実施する。また、(一財)地域創造による助成金の連携プログラムとして、他ホールとも協力しながら制作力を高めていく。

(3) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団合同定期演奏会「プーランク^{きん}讃」

神戸市混声合唱団の佐藤監督が指揮をとり、同人がもっとも得意とする近代フランスの作曲家プーランクの芸術性の高い大作を2曲披露する。

ソリストには兵庫県出身で、今や国際的に活躍する中村恵理（ソプラノ）を、オーケストラには関西の若手奏者を起用し、編成を拡大させて臨む。

(4) 中央区文化センターオープニングイベント

令和4年7月19日にオープン予定の中央区文化センターのオープン記念イベントを複数開催する。オープン当日には、多文化共生をテーマとした事業として、神戸市に在住のイタリア人ヴァイオリニストを主体にしたコンサートを開催。また8月には旧居留地地域との連携の要請にも応え地元のブティック数店とファッションショーを実施する。

(5) KAVC プロデュース公演 手話裁判劇『テロ』

舞台芸術プログラムディレクター ウォーリー木下のもと、3年間継続したKAVC FLAG COMPANYの集大成として令和4年10月にKAVCプロデュース公演を開催。

演出にピンク地底人3号（ピンク地底人/ももちの世界）、出演に山口文子を招き、フェルディナント・フォン・シーラッハ作『テロ』を手話裁判劇として上演する。

今回の上演では、社会的包摂の一環として、聴覚障がい者と共に出演・鑑賞出来る公演を開催する。出演者はオーディションにより10名を選出し、約半年間の稽古を行い本番公演に臨む。

2 事業計画

<公益目的事業>

文化ホール

1 文化ホール公演事業

(1) 事業方針

- ・普及啓発及び人材育成型の事業を充実させながら、神戸文化ホールを拠点とした創造発信事業に向けた準備・展開
- ・優れた舞台芸術の鑑賞機会の強化
- ・財団のネットワークを活用した市民・芸術家・文化団体・他地域の文化施設などとの交流や連携の強化

(2) 事業内容

① 創造発信事業

神戸の文化発信の基盤である地元芸術団体、文化の担い手である若手芸術家に発表の機会を提供するとともに、市民の参加や地域及び他地域の文化施設との連携により、文化施設としての機能充実につながる事業を展開する。また「創造発信」への取り組みをより発展させていくために、制作や技術面でのスタッフの能力向上に努める。

② 普及啓発・人材育成事業

子どもたちや働き盛りの若い世代、また障がいを持つ人たちが楽しくホールに集い、交流し、アートに親しむフェスティバル型の事業「チャレンジジャンボリー2022」を実施。未来を担う子どもたちや若い世代が舞台芸術に触れる機会を生み出し、新たな観客を育成していく。また同事業では本格的な演奏課との共同制作を試みるとともに関西を拠点に活躍する実力派の演劇関係者や舞踊関係者などとも人脈を構築し、今後の創造発信事業にも繋げていく。

令和3年度にオンライン開催した神戸国際フルートコンクールについて、最高位者をはじめ入賞者全員を神戸に招き、記念演奏会・披露演奏会を開催するとともに、関連事業として、中学生を対象としたフルートクリニックやファミリーコンサートを実施するなど、普及啓発・人材育成にも努め、コンクールの浸透につなげていく。

③ 鑑賞事業

質の高い公演や、民間では実現しにくい公演などを中心に、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。

具体的には東京芸術劇場が製作する松尾スズキ原作、ノゾエ征爾脚本・演出による新機軸の音楽劇「気づかいルーシー」の開催や、若い世代を中心に高い人気を誇るとともに今や若手舞台俳優の登竜門ともなっている2.5次元ミュージカルにも取り組む。

(3) 令和4年度文化ホール事業一覧（文化ホール事業）

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
創造発信事業	4事業5公演			4,300
和太鼓松村組 神戸公演2022	11/19	1	神戸文化ホール 大ホール	1,200
貞松・浜田バレエ団 「くるみ割り人形」 (新制作)	12/17, 18	2	神戸文化ホール 中ホール	1,500
PRAY FROM KOBE ～明日につなげるコンサート～	1/22	1	神戸文化ホール 大ホール	1,200
第十五回 神戸能	3/21	1	神戸文化ホール 中ホール	400
普及啓発・人材育成事業	7事業8公演			2,860
音楽劇「気づかいルーシー」関連ワークショップ	6/25	1	神戸アートビ レッジセンター リハーサル室	30
神戸国際フルートコンクール関連事業 「中学生のためフルートクリニック」	6/19, 7/16	2	神戸文化ホール 練習室 リハーサル室	30
アートマネジメント講座 ホール見学「舞台のつくり方編 宙のソラミミ」	7/31	1	神戸文化ホール 中ホール	300
神戸文化ホール チャレンジジャンボリー2022 謎解きイマーシブシアター	11/26	1	神戸文化ホール 中ホール	700
神戸国際フルートコンクール関連事業 「コンサートに行こう！」	1/29	1	神戸文化ホール 中ホール	600
神戸国際フルートコンクール関連事業 「優勝者記念リサイタル」	未定	1	神戸文化ホール 中ホール	600
神戸国際フルートコンクール関連事業 「上位入賞者ジョイントコンサート」	未定	1	神戸文化ホール 中ホール	600
鑑賞事業	6事業9公演（一部調整中）			14,100
劇団唐組第68回公演「おちよこの傘持つメリー・ポピンズ」	4/29, 30, 5/1	3	湊川公園	500
音楽劇「気づかいルーシー」	8/17	1	神戸文化ホール 中ホール	650
第46回 東西落語名人選	9/10	2	神戸文化ホール 中ホール	1,500
ネルケプランニング2.5次元「ナルト」 (仮題)	9/27～10/10 調整中	調整中	神戸文化ホール 中ホール	10,000
親子で楽しむラテンのリズム ズーラシアンプラス「音楽の絵本 アミーゴ！」	10/22	1	神戸文化ホール 中ホール	700
桂米朝一門会	2/26	1	神戸文化ホール 中ホール	750
神戸文化ホール事業合計	17事業22公演（一部調整中）			21,260

2 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

(1) 事業方針

- ・神戸文化ホールにおける質の高い演奏の提供
- ・演奏水準のさらなる向上
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

(2) 事業内容

① 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

全国の自治体で唯一、ホール専属の神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団を保有・運営している強みを活かし、実力ある両団を核とした創造力あふれる企画発信や子ども達（特別支援学校）を招待する「こどもコンサート」の実施など、社会包摂事業の充実をはかり、「音楽のまち神戸」のシティプロモーションに資する。

② 楽団の周知・魅力発信の取り組み

次代を担う子ども達に対する鑑賞機会の提供のため、セレクションシリーズと題した子どもと一緒に鑑賞できるコンサートを文化センターで実施するほか、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」と、6年間で市内全小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業（4年目）」に地元の音楽家とも連携し継続して取り組んでいく。さらに、市内在住者が通う特別支援学校へのアウトリーチ（出張コンサート）を実施する。

また、神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団の定期演奏会を1年間のセットで聴くことができる「定期会員制度」の募集を令和4年1月から新たに開始し、安定した固定客層の獲得を目指している。

(3) 令和4年度文化ホール事業一覧（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）

【自主公演】

(単位：人)

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
神戸市室内管弦楽団	第153回定期演奏会 「シューベルトへの道」	4/23	1	神戸文化ホール 中ホール	340
	大阪特別公演	6/18	1	住友生命いずみホール	400
	第154回定期演奏会 「バッハ、ブラジルへ行く」	7/9	1	神戸文化ホール 大ホール	800
	第155回定期演奏会 「秋のシンフォニー」	10/1	1	神戸文化ホール 大ホール	800
	第156回定期演奏会 「音の謎かけ」(神戸公演)	2/11	1	神戸文化ホール 大ホール	800
	第156回 定期演奏会(東京公演)	2/13	1	紀尾井ホール	400
神戸市混声合唱団	合唱コンクール課題曲コンサート	4/29	1	神戸文化ホール 中ホール	430
	秋の定期演奏会 「松下耕の世界」	9/3	1	神戸文化ホール 大ホール	800
	春の定期演奏会 「憧れ」	3/11	1	神戸新聞松方ホール	350
合同	こどもコンサート	7/23	1	神戸文化ホール 大ホール	800
	合同演奏会 プーランク讃	11/13	1	神戸文化ホール 大ホール	800
自主公演合計					6,720

【依頼公演】

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
混声	アウトリーチ事業(低学年)	5月下旬～3月末	38	市内小学校	6,100
合同	アウトリーチ事業(高学年)	5月下旬～3月末	37	市内小学校	6,400
室内	ろうきんコンサート	11/29・30・12/1	3	神戸文化ホール 中ホール 兵庫県立芸術文化センター 姫路キャスパホール	760
合同	文化ホールインリーチ事業	2/2・3・4	5	神戸文化ホール 大ホール	4,000
依頼公演合計					17,260

3 文化振興事業

(1) 事業方針

- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・地元アーティスト・団体の芸術文化活動をサポートし、神戸文化の創造・発展に努める
- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み
- ・次世代の芸術文化の担い手や支え手の育成

(2) 事業内容

① 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

神戸に根付いたジャズ文化を市内外へ発信するため、観光・商業・報道等さまざまなジャンルの民間企業・個人・官公庁等と連携し、「ジャズの街神戸」推進協議会の活動として、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営をはじめ、『神戸ジャズの日』記念イベントや、公式ウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」等を通じ、さまざまな神戸のジャズに関する情報を集約し、発信を行う。

② 情報収集・提供の充実

新型コロナウイルスの影響を受け、活動の場が減っている地元アーティスト等文化芸術関係者を対象とし、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」を設置し、文化芸術活動に関する相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携し情報提供や助言等を実施。

これらの取組を通じて、地域の文化芸術活動にかかる情報や、必要な知見、ネットワークを蓄積し、アフターコロナを見据えた神戸の文化芸術振興・発展につなげていくことを目指す。

③ 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「神戸市吹奏楽祭」や「モーブガレット交歓会」、「シャンソン・ポピュレールコンクール」等の事業を行う。

④ 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団が行っている市内小学校へのアウトリーチ事業を地元芸術団体と連携して行う等協力関係の強化を図る。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等を通じて今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援する。

⑤ 芸術文化を担う人材の育成

アートマネジメント業界を志望する学生や文化芸術団体（劇場・音楽堂、実演団体）に所属するスタッフ等を対象とした講座の実施や、大学等と連携したインターンシップの受け入れ、あるいは学生等による自主的な公演制作の支援等を通じ、アートマネジメントの「担い手」養成を図る。

(3) 令和4年度文化ホール事業一覧（文化振興事業）

(単位：人)

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
神劇まわり舞台	4月～3月	市内小劇場	1,200
KOBEJAZZDAY2022旧居留地コンサート (「ジャズの街神戸」推進事業)	4/3	旧居留地三井住友銀行 神戸営業部前	600
神戸ユースジャズオーケストラの運営 (「ジャズの街神戸」推進事業)	通年	100BANホール、ジー ベックホールなど	—
神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール 大ホール	3,500
こうべ全国洋舞コンクール	5/1～5/5	神戸文化ホール 大・中ホール	1,924
(中止) YAMANO BIG BAND JAZZ CONTEST西日本予選	6/5	神戸文化ホール 中ホール	—
神戸三曲協会演奏会	6/12	神戸文化ホール 中ホール	300
神戸フィルハーモニック定期演奏会等	6/26 11/6, 1/14	神戸文化ホール 大ホール	1,500
(中止) 神戸ジャズ道場	8/4～8/6	神戸セミナーハウス	—
JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/19～8/21	神戸文化ホール 大ホール	2,500
神戸大アートマネジメント研究会 こどものためのコンサート	9/11	舞子ピラ あじさいホール	200
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール (ファイナル)	9/23	神戸文化ホール 中ホール	300
神戸ジャズストリート	10/8・9	北野町界限10か所程度	2,000
神戸音楽家協会・神戸からのしらべ (室内名曲シリーズ)	10/30	神戸文化ホール 中ホール	300
母親コーラス「モーブガレット交歓会」	12/8, 9	神戸文化ホール 中ホール	1,300
文化振興事業合計			15,624

4 情報発信

(1) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の情報発信強化

神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団について、専門人材のネットワーク・SNSを活用した積極的な情報発信、マスコミとの関係構築による記事化・放送化を目指す。また、各公演に音楽評論家を招き、注目される団体としてのムーブメントを起こし告知に資するといった戦略的広報に努める。

(2) インターネットによる情報発信

当財団が主催する主要事業などを幅広く紹介するとともに、管理している各施設の空室情報や講座の受講申込み、各種情報誌の内容をホームページに掲載する。

また、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど多様なSNSを活用したリアルタイムの情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開する。

加えて、新型コロナウイルスの影響を受け、活動の場が減っている地元アーティスト等文化芸術関係者を対象とし、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」を設置したところであり、より広く利用を促すとともに、取組を通じて、地域

の文化芸術活動にかかる情報や、必要な知見、ネットワークを蓄積し、アフターコロナを見据えた神戸の文化芸術振興・発展につなげていく。

(3) 「KOBE C 情報」の発信

令和3年度に機能を強化した「KOBE C 情報」を活用し、神戸及びその近郊における文化芸術イベント等をPRしたい事業実施者から情報を直接集め、ウェブサイトや複数のSNSで広く発信することで、文化芸術に関する情報のプラットフォーム形成を図る。

(4) 文化ホール公演事業の情報発信強化

神戸文化ホールの情報発信機能として、情報誌「ほーるめいと」を発行（18,000部／隔月）する。またSNSを活用したメールマガジン、フェイスブック、ツイッターでの発信や、ホームページの内容の充実など若い職員の意見を取り入れながら発展させていく。

(5) 広報PRの強化

財団事業を総合的かつ横断的にプロモーションし、公演の入場者数や入場料収入の増加につなげていく。

また、登用した専門人材の全国的なネットワークを活用し、マスコミへ各種資料提供を行うなど情報発信に積極的に取り組む。

5 神戸文化ホール貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

(2) 事業内容

① 弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続する。また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートする。

② 施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケート等でいただいたご意見・ご要望をもとに、ホール運営全般の改善に努める。

③ 文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続する。また、メールを用いた事前受付制の抽選会を継続して実施することで、コロナ感染対策としての対面接触を減らすだけでなく、遠方の利用希望者のホール利用のアクセシビリティを向上させる。

④ 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なう。とくに空調機に抗ウイルスフィルターを設置、舞台備品や楽屋その他の施設にも抗菌コーティングを行い、コロナ禍において観客だけでなく主催者にも安全・安心な環境の継続的な提供を図る。

また、キャッシュレス決済（電子マネー）で利用料金やチケット代金の支払いが可能となる電子精算機器の整備や、ホールでのインターネット配信等のための光回線等の設備を引き続き維持する。また非接触で入場を可能とするスマートゲートの導入により利用者にとってより使いやすくなるサービスと設備を提供するよう努める。

神戸アートビレッジセンター（KAVC）

1 神戸アートビレッジセンター（KAVC）事業

（1）事業方針

- ・先進的な芸術文化の事業の実施
- ・アートの世界への入り口となるワークショップや講座等の実施
- ・市内外の文化施設や教育機関等との交流及び連携
- ・事業を通じたまちの賑わいづくり及び活性化への寄与
- ・実施事業の評価と改善に向けた評価軸の策定

※神戸アートビレッジセンターは令和4年10月～令和5年3月末までの期間、施設の機能見直しに伴う工事を行うことが決定している。主催事業に関しては4月～10月までの実施とし、10月以降は次年度のリニューアルオープンに向けた準備期間となる。

（2）事業内容

① 演劇・舞踊事業

KAVC 舞台芸術プログラムディレクターウオーリー木下のもと、プロデュース公演 手話裁判劇『テロ』を開催する。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて延期となった KAVC FLAG COMPANY の3劇団の公演を行う。

高校生を対象にした Go! Go! High School Project は過去2年間オンライン公演であったが、今年は舞台上での公演を目指し開催予定している。その他、市田京美ダンスワークショップ、PM 飛ぶ教室など共催による公演・ワークショップ等を実施予定。

② 美術事業

若手アーティストの支援企画として推薦公募による展覧会を開催予定。展覧会企画のメンバーとして、京都精華大学の伊藤まゆみを迎え、出品作家は関西の芸術系大学の講師から推薦を受けた8組のアーティストから3組を選考、KAVC ギャラリーでの展覧会を実施する。その他にも、シルクスクリーンのワークショップを引き続き定期的で開催し、シルクスクリーンの普及と「###」の販売促進に努める。

(3) 令和4年度神戸アートビレッジセンター事業 事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
演劇・舞踊事業	15事業	44公演		2,638
1 市田京美ダンスワークショップ	4/29(金)～5/1(日)	3	リハーサル室	61
2 PM / 飛ぶ教室 「港でカモメがやすんでいる日はね、千帆ちゃん」	6/3(金)～5(日)	5	KAVCシアター	309
3 KAVC FLAG COMPANY 「劇団不労社」【2021年度延期公演】	6/3(金)～5(日)	5	KAVCホール	475
4 KAVC FLAG COMPANY 「かのうとおっさん」【2021年度延期公演】	7/29(金)～31(日)	5	KAVCホール	300
5 Go! Go! High School Project 2022 体験ワークショップ	5/29(日)	1	KAVCホール	15
6 Go! Go! High School Project 2022 ワークショップ	WS: 8/10(水)～20(土)	2	KAVCホール	20
7 Go! Go! High School Project 2022 公演	公演: 21(日)	2	KAVCホール	178
8 KAVC FLAG COMPANY 「Star Machine Project」【2021年度延期公演】	9/2(金)～4(日)	5	KAVCシアター	300
9～11 KFC関連アフタートーク	期間内1回	3	KAVCホール	300
12 KAVCプロデュース公演 手話裁判劇「テロ」	10/5(水)～10(月・祝)	10	KAVCホール	650
13～15 演劇・ダンスのワークショップ	随時	3	リハーサル室など	30
美術事業	4事業	23日間		1,100
1 若手芸術家支援企画	6/18(土)～7/10(日)	20	アトリエ、ギャラリー	1,000
2～4 はじまりのみかたワークショップ	随時	3	アトリエ、1 room	100
その他事業	15事業	17日間		942
1 新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト	5/7(土)	1	KAVCホール	179
2～3 新開地夏まつり、冬まつり	夏、冬2回	4	1 room、 新開地商店街	300
4～15 土曜マルシェ	毎月第2土曜日	12	1 room	463
KAVC自主事業合計	34事業	84公演/日間		4,680

2 情報発信

情報発信機能を充実、強化するため、チラシやホームページ、SNS など幅広い広報PRに努める。令和4年度は下半期が機能見直しに伴うリニューアル工事期間となるため、独自媒体を活用した情報発信（広報誌・HP・SNS等）の見直しを図る。

3 神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ・ 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供
- ・ 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・ 利便性の向上
- ・ 市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・ with コロナにおける「新しい生活様式」を考慮した貸館推進

(2) 事業内容

① 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供

条例規則を基に「神戸アートビレッジセンター管理規定」を作成し、利用者に対して公平・公正なサービスを提供する。管理規定では条例規則で定められていない箇所を明確にし、恒常的に安定したサービスを引き続き提供する。

② 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

経験豊かな人材による貸館対応スタッフを配置すると共に、貸館マニュアルやOJTにより全職員が基本的な貸館対応を行い、お客様を待たせない体制を整える。また、施設の使用用途を「練習施設」「発表施設」の2つに分類し、それぞれの対応フォーマットをまとめ、利用者が安心して利用できる体制づくりを整える。「発表施設」では、予約段階から相談や打合せなどの専門知識を備えた施設運営スタッフが対応を行う。また、全国的に珍しいシルクスクリーン工房「アトリエ KAVC」の利用に関しては、技術スタッフを配置し、初心者利用からアーティストなどの多彩な表現に答えられる体制を整える。

③ 利便性の向上

アンケート調査を元にした利用者ニーズを把握し、貸館の利便性向上を常に意識して運営を行う。貸館予約システム導入やSNSを活用した広報、積極的な情報公開を行い、利用者が快適に使うことのできる貸館運営を行う。その他、利用申請の受付、抽選方法など貸館事業における利便性向上のための取り組みを継続して行う。

④ 市民の芸術文化活動の促進・誘致

貸館事業でも協力事業・提携事業・共催事業を検討し、地域にゆかりのあるアーティストや、市民の文化・教育普及につながる催しなどに対して貸館事業として支え、市民の芸術文化活動の促進につなげる。

⑤ with コロナにおける「新しい生活様式」を考慮した貸館推進

長期化する新型コロナウイルス感染症対策において、新しい生活様式を考慮した貸館推進として「施設利用減免サービス」、「感染防止対策支援サービス」、「ICT活用技術支援サービス」、「広報・ネットワーク活用サービス等」を検討し、利用推進を図る。

各区文化センター

1 文化センター講座・地域連携事業

(1) 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応
講座事業や地域連携事業の実施
- ・作品展示会・発表会の実施
- ・「多文化共生」をテーマにした事業実施
- ・財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用

※令和4年6月30日に葺合文化センター・生田文化会館については閉館。令和4年7月19日より中央区文化センター開館予定。

(2) 事業内容

① 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、コロナウィルスの流行により令和2年度より春季・夏季・秋季・冬季の3ヶ月単位に変更している。講師・受講生にコロナ感染対策に協力いただきつつ講座事業を継続し、「with コロナ」の中でも文化活動を楽しんでいただけるよう運営していく。また、一部センターでは再流行も視野に含めて開始した、オンライン講座を継続して実施する。

令和3年度より実施した、文化に造詣の深いお笑い芸人を講師として招聘する講座が好評であり、徐々に講座の種類も増やしていくなど、今年度も継続実施していく。

② 地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、「だんじり」や「須磨琴」など地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施する。令和2年度より指定管理となった旧勤労市民センターを中心に、市の文化財課や博物館との連携事業を多数展開した実績を踏まえて、今年度も文化振興に関わる他施設との連携を強化していく。

また地域文化活性化事業として、従来の伝統文化や歴史を生かした事業に加え、神戸にゆかりのある音楽家や落語家を迎えた公演等、今まで以上に色彩豊かな事業展開を行っていく。

③ 作品展示会・発表会

文化センターのギャラリーやロビー、ホール及び花時計ギャラリーにおいて、講座受講生をはじめとする市民の絵画、陶芸、写真などの作品展示会や舞踊、音楽等の発表会を実施する。

④ 「多文化共生」をテーマにした事業実施

神戸市が中央区文化センターの事業目標として掲げている「多文化共生」に即し、中央区文化センターを中心に外国人アーティストによる事業を実施する。神戸市在住のイタリ

ア人ヴァイオリニストを中心とした海外アーティストのオープン記念イベントを皮切りに、月に1回程度、ミニコンサートを中心に中央区文化センターにおいて、開催する。他にも、海外との繋がりが深い旧居留地という特色を活かし、外国人による母国文化の紹介や交流イベントなどを企画する。

(3) 令和4年度文化センター事業一覧(文化センター)

(単位：人)

事業名	開催時期	回数	開催場所	入場者数
文化センター共通事業				
市民の第九2022	12/10	1	神戸文化ホール	1,270
地域文化活性化事業				
書の芸術祭	8/20	1	東灘区文化センター	400
親子で楽しむジャズコンサート	10/2	1	東灘区文化センター	300
未定(オペラ)	10/23	1	東灘区文化センター	350
定例講座発表会	3/21	1	東灘区文化センター	80
第54回 民謡春祭り	4/17	1	灘区文化センター	200
第27回 灘区コーラスの集い	6/24	1	灘区文化センター	300
第21回 マリーゴールドフェスティバル	2月	1	灘区文化センター	300
人形劇「ほんまのところ」	2/12	1	灘区文化センター	100
第17回「ひょうごオータムフェスティバル」	10/22	1	兵庫区文化センター	950
神戸ユースジャズオーケストラコンサート	1/28	1	兵庫区文化センター	100
kajiiの日用品楽器コンサート～食器は歌う～	3/25	1	兵庫区文化センター	150
小中高生の吹奏楽によるサマータイムコンサート	8/20	1	北区文化センター	300
第9回すずらんホール農村歌舞伎	9/18	1	北区文化センター	100
すずらんホールコンサートVo158	10/30	1	北区文化センター	300
すずらんホールファミリーコンサート	3/5	1	北区文化センター	300
ありまホール映画サロン「夏休み子ども大会2022」	8/7	1	北神区文化センター	120
北信オータムフェスタ2022	10/8	1	北神区文化センター	550
Special Jazz Live2022	10/29	1	北神区文化センター	550
新春おたのしみ会2023	1/15	1	北神区文化センター	120
みんなでわいわいチャリティコンサート2023	3/5	1	北神区文化センター	120
2022年度講座発表会	3/11～3/12	1	北神区文化センター	120

ピフレdeアートVol,7アンサンブルの極み	7/10	1	長田区文化センター	300
ピフレdeアートVol,8夏休み子どもコンサート	8/14～8/15	3	長田区文化センター	400
第10回ローゼスフェスティバル	9/3	1	長田区文化センター	300
ピフレdeアートVol,9 サクソフォンカルテットコパン	9/17	1	長田区文化センター	300
ピフレdeアートVol,10 坂本彩ピアノリサイタル	11/25	1	長田区文化センター	300
第34回サルビアフェスティバル	未定	1	長田区文化センター	300
歴史講演会	未定	1	長田区文化センター	150
須磨区音楽協会コンサート	4/17・7/17・2/5	3	須磨区文化センター	200
須磨区民寄席	5/22・9/29	2	須磨区文化センター	120
こども向けミュージカル	7/3	1	須磨区文化センター	120
須磨フィルハーモニー管弦楽団コンサート	9/11・12/11	2	須磨区文化センター	250
須磨の歴史	10/23	1	須磨区文化センター	150
須磨区女性音楽グループの音楽・舞踊発表会	9/29・10/10・ 11/10	3	須磨区文化センター	150
定例講座発表会	3/19	2	須磨区文化センター	300
JazzConcert「北須磨JazzLive」	6/18	1	北須磨文化センター	100
北須磨プールフェスタ	10/10	1	北須磨文化センター	100
北須磨ハロウィン祭	10/30	1	北須磨文化センター	100
北須磨XmasConcert(中高吹奏楽)	12/17	1	北須磨文化センター	100
北須磨文化センター講座発表会	3/12	1	北須磨文化センター	100
レバンテシネマ「ドリーム」	7/13	1	垂水区文化センター	500
(中止)親子で楽しむ映画会	7月	1	垂水区文化センター	-
こどものためのコンサート	8/21	1	垂水区文化センター	250
区民音楽祭	10/28	1	垂水区文化センター	200
響けハーモニー	10/30	1	垂水区文化センター	300
TARUMIユースフェスティバル	3/4	1	垂水区文化センター	150
ゼラニウムフェスティバル	3/18	1	垂水区文化センター	150
子ども農村歌舞伎体験教室・神戸の農村歌舞伎と講演	4～9月・9/11	16	西区文化センター	100
ダンスフェスティバル	12/11	1	西区文化センター	650
子供向けミュージカル	1/22	1	西区文化センター	550
定例講座合同発表会	3/4	1	西区文化センター	500
Kobe Città dell' Armonia コウベ・チッタ・デル・アルモニア	7/19	1	中央区文化センター	130
美しき神戸のファッションショー ～装うことを楽しもう！神戸を元気にそして世界へ～	8/10	1	中央区文化センター	120
市民の第九オーディション・合同練習	10～12月	4	中央区文化センター	160
ワイン&ジャズライブ	未定	1	中央区文化センター	100
なんでも発表会	未定	1	中央区文化センター	200
事業合計		84		14,980

2 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

(1) 事業方針

- ・各区文化センターにおける質の高い演奏の提供

(2) 事業内容

各区文化センターにおいて、従来の公演に加え、神戸市室内管弦楽団による、安価な料金で休憩なし60分以内の企画を新たにスタートする。公演後にはトークなどの交流プログラムを実施するほか、定期演奏会で取り上げないような作品、出演者の組み合わせを積極的に試み、市民に新しい音楽体験を届ける。

(3) 令和4年度文化センター事業一覧（神戸室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）

(単位：人)

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
室内	セレクションⅠ	8/27	1	東灘区文化センター うはらホール	300
	セレクションⅡ ※2回公演	3/18	2	長田区文化センター別館 ピフレホール	500
混声	わがまちコンサート ピフレ	5/27・12/16	2	長田区文化センター別館 ピフレホール	500
	あなたに贈るコンサート	10/16・1/22	2	北神区文化センター ありまホール 東灘区文化センター うはらホール	550
自主公演合計					1,850

3 文化振興事業【文化振興課】

(1) 事業方針

- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み

(2) 事業内容

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）」等を企画していく。

(3) 令和4年度文化センター事業一覧（文化振興事業）

(単位：人)

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
全日本シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）	6/4	長田区文化センター別館 ピフレホール	140
全日本シャンソン・ポピュレールコンクール（セミファイナル）	8/6	長田区文化センター別館 ピフレホール	130
神戸フォーレ協会 ボンジュール・フランス（室内楽名曲シリーズ）	6/26	東灘区文化センター うはらホール	270
神戸三曲協会独奏会	3/19	東灘区文化センター うはらホール	200
文化振興事業合計			740

4 情報発信

文化センターの情報発信機能の充実を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、友の会運営に取り組むとともに SNS を積極的に活用していく。令和3年度より市民の第九公式 LINE アカウントを開設し、公式マスコットキャラクター「べんちゃん」のスタンプを発売。

5 文化センター貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ・料金割引制度や利用団体への広報・相談サポートなどの向上と積極的な広報活動による利用促進
- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供
- ・財団が運営する定例講座とは別に、市民が主催して行う講師主催講座を貸館対応で実施していくことで新たな「教えたい・学びたい」市民の文化活動を展開

(2) 事業内容

- ① サービスと利便性の向上
例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入
市有施設利用申し込み一体管理システム（あじさいネット）導入（令和4年秋予定）など
- ② 地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援
例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など
- ③ 積極的な貸館セールス
例：「文化センターだより」発行、「友の会」・ホームページの活用
入口付近設置の大型ディスプレイによる、空室状況の掲示
- ④ 省エネルギーや環境を意識した設備管理
例：節電、環境保護の取り組みの日常業務への組み入れ

<収益事業>

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場など神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1~5	: 15 名~150 名
	多目的室・特別控室	
	自動販売機	: 7 台
	駐車場（神戸文化ホール練習場）	: 10 台

(2) 神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業

芸術文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置を行うほか、飲食店舗「はっちゃんの台所」など利用者へのサービス向上と地域の賑わいづくりにつながる 1 room の活用を行う。

※施設概要	多目的ホール	: 232 席
	視聴覚ホール	: 94 席
	ギャラリー	: 148 m ²
	リハーサル室 1~2	: 120 m ² ~189 m ²
	会議室 1~2、スタジオ 1~3、1room 等	
	自動販売機	: 4 台

(3) 文化センター講座・地域連携事業

当財団が指定管理者として管理運営する文化センターにおいて、美容・スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催する。

※例	講座	: 健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、水泳など
	自主事業	: コミュニティフェスティバル、卓球大会など

(4) 文化センター貸館・管理事業

指定管理者である文化センターにおいて、イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール、体育施設、プール	
	会議室、多目的室	
	和室・音楽室・美術室・陶芸室等	
	自動販売機	: 35 台
	駐車場（北神区文化センター）	: 123 台

<法人運営全体に関わる事業>

(1) 専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用する。

平成30年度から、職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的で開催し、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和3年度から、外部の専門人材を登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を令和3年度に引き続き実施する。

(2) 経営の安定化

「中期経営計画2026」で定める目標の実現に向け、事業を着実に実施していくためには、経営の安定が必須であることから、事業収入の確保のほか、公的及び民間団体からの助成金の獲得、税制優遇制度を活用した寄附など外部資金の獲得に向けて、これまで以上に力を入れて取り組む。

また、当財団事業について、改めて再構築の観点から徹底的な見直しを進めていくとともに、令和3年度よりセグメント会計を導入し、事業部毎の独立採算を目指している。

平成30年7月に地元経済界が立ち上げた芸術文化を支援する「神戸文化マザーポートクラブ」の事務局を当財団が担うことで、芸術文化界と地元経済界のつなぎ役を担うとともに、当財団としても経済界との関係を深め、当財団に対する企業協賛等支援の獲得を目指していく。

3 経営改善の取り組み

神戸市の文化芸術施策の目指す姿や基本的な方向性を示す指針である「神戸市文化芸術推進ビジョン」が令和3年1月に策定された。当財団においても、計画期間の満了による中期経営計画の更新時期を控えていたことから、本ビジョンや神戸市が提示したミッションを踏まえ、令和4年度から令和8年度を計画期間とする「中期経営計画2026」を策定した。

本計画では、当財団の目的を、「神戸市民の文化活動の振興に資する事業を行い、もって個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与する」としており、令和9年度頃の工事完了に向け整備が進められている新・神戸文化ホール大ホールの運営を担いうる実力を備えるため、本計画の着実な遂行とともに下記の経営改善を進めていく。

(1) 集客及び利用の促進

①公演等事業

運営体制が一新された神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団による公演をより魅力あるものに強化していく。また、令和3年度に実施した第10回神戸国際フルートコンクールの入賞者を招いた披露演奏会やコンクールの関連事業を実施する。さらに、音楽劇「気づかいルーシー」では、他ホールとも協力しながら企画・制作力を高め、KAVCプロデュース公演 手話裁判劇『テロ』では、社会的包摂の一環として、聴覚障がい者と共に出演・鑑賞出来る公演を開催する。

こうした取り組みにより、良質で特色のある芸術文化プログラムを市民に提供するという劇場法の趣旨を達成していく。

②演奏事業の再構築

令和3年度に登用した民間専門人材や新音楽監督の就任により、演奏事業における質の向上や、戦略的な広報・営業、外部資金の積極的獲得による収支改善に継続して取り組む。

③中央区文化センター

令和4年度に新たに開館する中央区文化センターの管理運営を行う。旧居留地の立地特性を生かし、街に“とびだす”文化センターとして、新たな事業展開を行うことで、多様な市民の文化活動のニーズに対応する。また、11館の文化センターを統一的に運営することで、市民に対して文化芸術活動に関する均質なサービスの提供を行う。

④貸館利用

ICTを活用した貸館申し込み方法の改善を行うほか、貸館施設をより安全・安心に利用していただけるよう「withコロナ」に対応した工夫、取り組みを行う。また、舞台技術などに関する専門的かつ的確なアドバイスにより、利用者が行う舞台表現のレベル向上に貢献する等、利用者の満足度向上を図り、リピーター確保に繋げていく。

⑤人材の養成

劇場・音楽堂や地域での文化芸術活動を支えるアートマネジメントの担い手、あるいは舞台技術者の育成を行い、広く文化振興に寄与する目的で、実践的な講座やインターンシップの受け入れなどに取り組む。

(2) 経営基盤の強化

①外部専門人材の登用

文化ホール事業においても、新たな外部専門人材に登用し、財団の企画・制作力の向上を強力に進める。

②外部資金の積極的獲得

財政基盤を安定させるため、文化庁を始めとする外部助成金の必要性が更に増している。また、民間団体の有する助成制度や企業協賛金など、多様な資金調達手段の開拓が不可欠である。専門人材の知見やネットワークも最大限活用し、外部資金の積極的な獲得に取り組む。

③事業執行の効率化

ワークフローの電子化など、遅れていた内部事務のIT化に着手し、併せてIT化に対応した組織体制とすることで、事務処理の効率化を推進する。

<中期経営計画 2026 に基づく具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）>

【神戸からの創造・発信を行う】

KPI	令和5年度より企画・政策及び発信型事業年1演目以上実施
	他館連携型の事業の企画・実施 年1回以上
	文化センター、KAVC で行われる公演のうち、その発展性を見込んで文化ホールでの開催に移行するものの選定 年1回以上
	相談窓口利用者の発展的活動展開 利用者の70%以上

【地域社会の絆をつなぐ】

KPI	公演におけるバリアフリーへの工夫 自主事業毎に1つ以上
	社会包摂型の自主事業 年に1回以上
	多文化共生を目指す自主・共催事業等 年に1回以上
	C情報フォロワー数1万人以上
	各文化センターにて地域文化活性化事業を実施 年3回以上
	講座参加者数20%増（対令和3年度比。講師主催講座含む。）

【くらしと芸術文化をつなぐ】

KPI	市民ネットモニターアンケート「過去1年間で芸術文化を鑑賞した人の割合（絵画・音楽・演劇・映画・ダンス等）80%以上
	敷居を下げた参加しやすい自主事業の企画、継続実施 年に5回以上
	異分野との連携による事業の企画・実施 年1回以上

【学ぶ、トライするを支える】

KPI	アートマネジメント人材養成事業への参加者 年100人以上
	新たな市民を呼び込む事業数 年30回以上
	講座参加者数20%増（再掲）
	市内小学生が実演芸術を経験する 小学校期間中に1回以上

【経営を安定化する】

KPI	助成金の新規申請及び獲得 毎年度新規1件以上増
	一般正味財産が必要とされる充当額を毎年度下回らない
	財政・経理に関する職員研修 毎年度1回以上
	常勤役員を除く、課長級以上の市出向職員の比率40%以下

4 令和4年度予算 (1) 事業別収支予算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日, 単位: 千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
公益目的事業会計	1,914,660	公益目的事業会計	1,932,408
文化振興事業収入	25,906	文化振興事業支出	27,483
演奏事業関係収入	288,629	演奏事業関係支出	280,012
文化ホール公演事業収入	105,177	文化ホール公演事業支出	106,942
文化ホール貸館・管理事業収入	274,301	文化ホール貸館・管理事業支出	274,925
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	3,139	神戸アートビレッジセンター公演事業支出	15,639
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	133,114	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	123,570
文化センター講座等事業収入	315,566	文化センター講座等事業支出	313,843
文化センター貸館・管理事業収入	746,388	文化センター貸館・管理事業支出	767,528
あじさいホール運営収入	22,440	あじさいホール運営支出	22,466
収益事業等会計	720,689	収益事業等会計	694,569
文化ホール貸館・管理事業収入	27,792	文化ホール貸館・管理事業支出	27,856
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	18,152	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	16,852
文化センター講座等事業収入	164,219	文化センター講座等事業支出	161,221
文化センター貸館・管理事業収入	510,526	文化センター貸館・管理支出	488,640
法人会計	95,098	法人会計	103,470
財団管理運営事業収入	88,498	財団管理運営事業支出	92,178
営業企画収入	6,600	営業企画支出	11,292
当期収入合計 (A)	2,730,447	当期支出合計 (B)	2,730,447
		当期収支差額 (A) - (B)	0

* 神戸市からの収入
 (1) 補助金 360,725千円
 (2) 受託料 1,186,292千円

(2) 予定正味財産増減計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日, 単位: 千円)

科目	金額	
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産受取利息	335	
文化事業収益	559,760	
文化施設等運営収益	0	
管理受託収益	1,204,996	
施設利用料金収益	553,166	
受取補助金等	412,149	
受取寄付金		
受取利息	41	
雑収入	0	
経常収益計		2,730,447
(2) 経常費用		
事業費	2,626,977	
管理費	103,148	
経常費用計		2,730,125
当期経常増減額		322
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期一般正味財産増減額		322
法人税、住民税及び事業税		322
当期一般正味財産増減額		0
一般正味財産期首残高		113,211
一般正味財産期末残高		113,211
II 指定正味財産増減の部		
(1) 基本財産運用益		
基本財産受取利息		0
(2) 一般正味財産への振替額		
一般正味財産への振替額		0
当期指定正味財産増減額		0
指定正味財産期首残高		200,000
指定正味財産期末残高		200,000
当期正味財産増減額		0
正味財産期首残高		313,211
III 正味財産期末残高		313,211

(3) 予定貸借対照表

(令和4年3月31日現在, 単位: 千円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	3,705	未払金	230,362
預金	292,632	前受金	152,894
未収金	98,748	預り金	12,574
前払金	2,546	賞与引当金	31,115
預け金	87	流動負債合計	426,945
流動資産合計	397,718		
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1) 基本財産		退職給付引当金	13,104
定期預金	6,910	固定負債合計	13,104
投資有価証券	210,000	負債合計	440,049
基本財産合計	216,910	III 正味財産の部	
(2) 特定資産		1. 指定正味財産	
特定資産合計	100,000	基本財産	200,000
(3) その他固定資産		指定正味財産合計	200,000
什器備品	5,934	(うち基本財産への充当額)	(200,000)
保証金	32,698	2. 一般正味財産	113,211
その他固定資産合計	38,632	(うち基本財産への充当額)	(16,910)
固定資産合計	355,542	(うち特定資産への充当額)	(0)
		正味財産合計	313,211
資産合計	753,260	負債及び正味財産合計	753,260

(4) 事業別予定収入明細書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日, 単位: 千円)

科 目	収 入	内 訳						
		事業収入	指定管理料等 収 入	補助金収入	助成金収入	利用料金収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	1,914,660						0	0
文化振興事業収入	25,906	12,266		13,640			0	0
演奏事業関係収入	288,629	28,642		214,184	45,803		0	0
文化ホール公演事業収入	105,177	36,928		16,960	51,289		0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	274,301		113,857			160,444	0	0
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	3,139	2,139			1,000		0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	133,114		128,274		4,840		0	0
文化センター講座等事業収入	315,566	315,566					0	0
文化センター貸館・管理事業収入	746,388		541,315			205,073	0	0
あじさいホール運営収入	22,440			22,440			0	0
収益事業等会計	720,689	164,219	373,661	0	0	182,809	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	27,792		11,536			16,256		
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	18,152		17,492			660		
文化センター講座等事業収入	164,219	164,219						
文化センター貸館・管理事業収入	510,526		344,633			165,893		
法人会計	95,098	0	0	93,501	1,221	0	0	376
財団管理運営事業収入	88,498			86,901	1,221			376
営業企画収入	6,600			6,600				
合 計	2,730,447	164,219	373,661	93,501	1,221	182,809	0	376

(5) 事業別予定支出明細書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日, 単位: 千円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	1,932,408		
文化振興事業支出(あじさいホール事業を含む)	49,949	15,815	34,134
演奏事業関係支出	280,012	46,889	233,123
文化ホール関係支出	381,867	72,695	309,172
神戸アートビレッジセンター関係支出	139,209	47,078	92,131
文化センター関係支出	1,081,371	132,197	949,174
収益事業等会計	694,569		
文化ホール関係支出	27,856	4,074	23,782
神戸アートビレッジセンター関係支出	16,852	6,421	10,431
文化センター関係支出	649,861	80,633	569,228
法人会計	103,470		
財団管理運営事業支出	92,178	42,528	49,650
営業企画課支出	11,292	9,292	2,000
合 計	2,730,447	0	0

VI 令和3年度主要事業計画・実績比較表

文化センター講座事業（講座受講者数）

施設名	受講者数（人）		
	計画	実績	増減
東灘区文化センター	2,500	3,109	609
灘区文化センター	4,800	5,543	743
葺合文化センター	0	0	0
生田文化会館	0	0	0
兵庫区文化センター	3,800	4,293	493
北区文化センター	3,000	3,606	606
北神区文化センター	3,700	4,282	582
長田区文化センター	4,500	5,665	1,165
須磨区文化センター	2,000	2,467	467
北須磨文化センター	3,700	4,667	967
垂水区文化センター	5,800	6,947	1,147
西区文化センター	6,200	7,275	1,075
計	40,000	47,854	7,854

芸術文化事業

事業名	入場者数（人）		
	計画	実績	増減
文化振興事業	33,550	10,053	△ 23,497
音楽事業	28,250	9,470	△ 18,780
演劇・舞踊事業等	5,300	583	△ 4,717
その他	—	—	—
演奏事業	6,750	5,856	△ 894
室内管弦楽団公演	3,050	3,047	△ 3
混声合唱団公演	2,800	1,773	△ 1,027
合同公演	900	1,036	136
神戸文化ホール事業	25,550	18,862	△ 6,238
芸術創造・発信事業	12,650	13,189	989
教育普及・育成事業	9,050	1,338	△ 7,712
鑑賞・学習事業	3,850	4,335	485
神戸アートビレッジセンター事業	13,016	23,134	10,118
演劇・舞踊事業	3,620	2,455	△ 1,165
美術事業	3,380	3,263	△ 117
映像事業	3,876	3,998	122
音楽・地域事業	2,140	13,418	11,278

施設毎入場者

(人)

施設名	計画	実績	増減
神戸文化ホール(練習室含む)	610,000	178,600	△ 431,400
神戸アートビレッジセンター	185,500	109,098	△ 76,402
文化センター	2,582,000	1,547,379	△ 1,034,621

VII 主要事業の推移(令和元年度～令和3年度)

文化センター講座事業 (講座受講者数)

施設名	受講者数(人)				
	元年度	2年度		3年度	
	実績	実績	対前年比	実績	対前年比
東灘区文化センター	3,461	1,464	42.3%	3,109	212.4%
灘区文化センター	—	2,340	—	5,543	236.9%
葺合文化センター	1,412	13	0.9%	0	0.0%
生田文化会館	2,483	28	1.1%	0	0.0%
兵庫区文化センター	—	2,027	—	4,293	211.8%
北区文化センター	3,535	1,776	50.2%	3,606	203.0%
北神区文化センター	4,181	1,806	43.2%	4,282	237.1%
長田区文化センター	—	2,667	—	5,665	212.4%
須磨区文化センター	2,380	873	36.7%	2,467	282.6%
北須磨文化センター	—	1,225	—	4,667	381.0%
垂水区文化センター	—	3,298	—	6,947	210.6%
西区民センター	6,724	3,402	50.6%	7,275	213.8%
計	24,176	20,919	86.5%	47,854	228.8%

※旧勤労市民センター、北須磨文化センターについては令和元年度の実績記載なし

芸術文化事業

事業名	入場者数(人)				
	元年度	2年度		3年度	
	実績	実績	対前年比	実績	対前年比
文化振興事業	56,998	3,636	6.4%	10,053	276.5%
音楽事業	52,143	3,285	6.3%	9,470	288.3%
演劇・舞踊事業等	3,778	351	9.3%	583	166.1%
その他	105,173	—	—	—	—
演奏事業	11,256	6,097	54.2%	5,856	96.0%
室内管弦楽団公演	4,086	4,066	99.5%	3,047	74.9%
混声合唱団公演	5,023	1,098	21.9%	1,773	161.5%
合同公演	2,147	933	43.5%	1,036	111.0%
神戸文化ホール事業	58,010	7,465	12.9%	18,862	252.7%
芸術創造・発信事業	14,741	6,628	45.0%	13,189	199.0%
教育普及・育成事業	18,416	180	1.0%	1,338	743.3%
鑑賞型事業	24,853	657	2.6%	4,335	659.8%
神戸アートビレッジセンター事業	24,497	22,804	93.1%	23,134	101.4%
演劇・舞踊事業等	8,094	4,943	61.1%	2,455	49.7%
美術事業	933	3,197	342.7%	3,263	102.1%
映像事業	5,860	3,100	52.9%	3,998	129.0%
音楽・地域事業	9,610	11,564	120.3%	13,418	116.0%

施設毎入場者数

(人)

施設名	元年度	2年度		3年度	
	実績	実績	対前年比	実績	対前年比
神戸文化ホール(練習室含む)	457,954	77,994	17.0%	178,600	229.0%
神戸アートビレッジセンター	156,441	73,998	47.3%	109,098	147.4%
文化センター	1,429,151	1,067,735	74.7%	1,547,379	144.9%